

信州大学 平成30年度学生募集要項

一般入試



**SHINSHU
UNIVERSITY**

この「学生募集要項」は、入学手続きが完了するまで大切に保管してください。

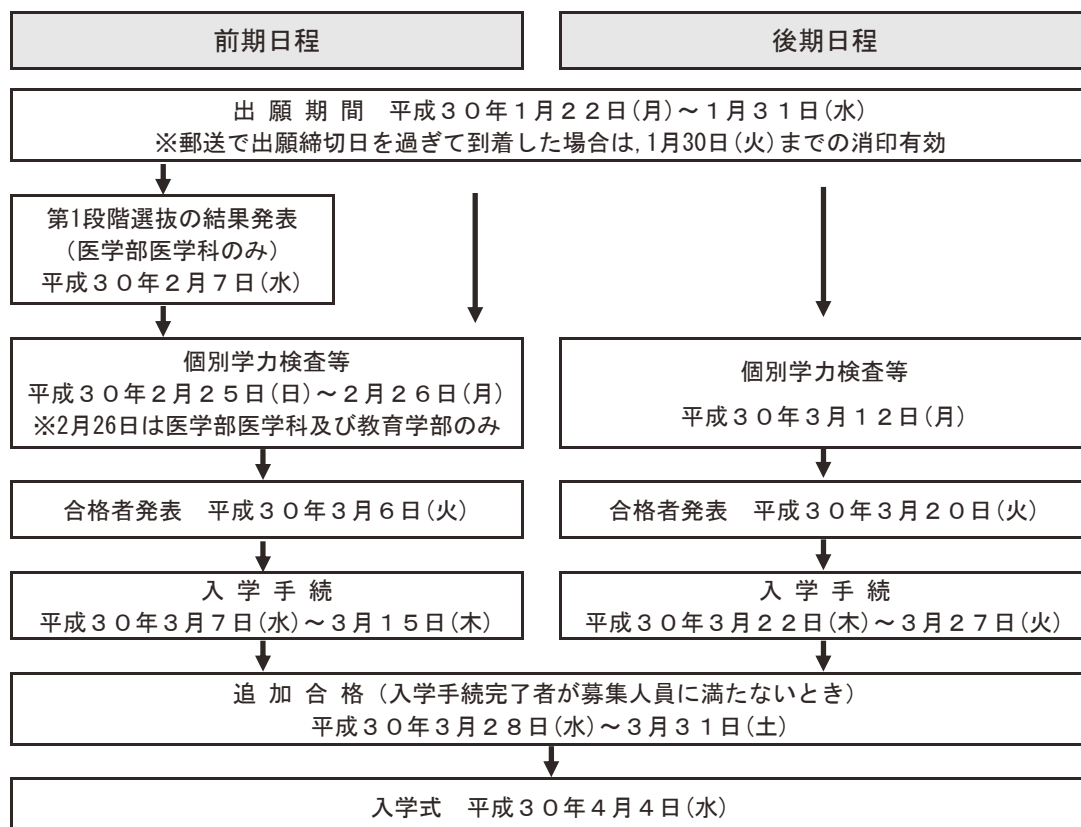
信州大学「入学者受入れの方針」

信州大学は、真理への探究心とチャレンジ精神を培い、高度な専門知識と深い思索力を基にして、課題を探究し解決する能力を備えるとともに、豊かな人間性と広い視野をもち、身につけた知識や技術を人類文化と社会の持続的発展に役立て、世界の平和と自然環境の保全のために活かすことのできる、意欲あふれる若者を育てることを教育の目標にしています。したがって、この教育を受けるために必要な高等学校修了段階の基礎学力を有する人を求めています。

大学入学までに履修すべき教科・科目

在籍する高等学校等が、学習指導要領に従って定める教育課程表に沿って、履修するすべての教科・科目について、十分に履修し、相応の学力を身につけていることが望まれます。また、志望する学部や学科ごとに、入学後の授業内容を理解するために履修が必要な教科・科目が示されている場合は、それらの科目の内容を十分に理解していることが望まれます。

出願から入学までの日程の概要（一般入試）



緑豊かな「信州」で 未来をじっくり考える人材に

信州大学長
濱 田 州 博



「信州」、皆さんは何をイメージするでしょうか。

長野県が策定した信州ブランド戦略では、「自然の美しさ、環境との共生」、「健康長寿」、「勤勉・教育熱心な県民性」を信州らしさと考えています。信州大学で学ぶと言うことは、緑豊かな自然を有する「信州」で学ぶことであり、専門分野だけでなく、様々な分野をじっくりと学んで巣立っていったいただきたいと願っています。

さて、信州大学は、長野市、松本市、上田市、南箕輪村の4市村に5キャンパスを有し、8学部で教育研究を行う総合大学です。長野市には、長野駅を挟んで北と南にそれぞれ教育学部と工学部のキャンパスがあります。松本市には、人文学部、経法学部、理学部、医学部と共通教育を行う全学教育機構があり、すべての1年生がここで学んでいます。上田市に繊維学部、南箕輪村に農学部があり、長野県4地域、北信、中信、東信、南信それぞれに点在しています。どのキャンパスも緑豊かな山々に囲まれ、ちょっと足を伸ばせば自然を味わうことができると思います。自分が進学したい専門分野を8学部の中から選び、自然環境を満喫しながら学修してみませんか。

また、信州大学では、特徴的で先端的な研究を推進するため5つの研究所と5つの次代クラスター研究センターを有する先鋭領域融合研究群を設置しており、それぞれの分野で世界的な教育研究拠点を構築することを目指して掲げております。研究群では、海外の大学や研究機関との共同研究に力を入れており、海外の研究者と共同で執筆した論文の割合は日本の大学でもトップクラスとなっております。一方、信州大学は地域貢献度の高い大学と認知されておりますが、地域と世界の架け橋になることも目指しており、地域に対する活動とグローバルな活動を結びつけた取組も行っております。

ところで、信州大学に入学した学生の出身地を見ると、75%以上が長野県外出身者で北は北海道から南は沖縄まで様々な出身の学生が集っています。グローバル化が重要である理由の一つは、異文化と接触することで多くのことが得られるからです。信州大学では、海外からの留学生と接触することもできますが、日本各地の文化を背景に育った学生と接触することも可能です。このような交わりは、皆さんを次のステージへと導いてくれると信じておりますし、地域から世界まで幅広く活躍できる人材に成長させると確信しております。

緑豊かな「信州」で、異文化で育った仲間と交流し、充実した教育プログラムのもと未来をじっくり考える人材として、グローバルに活躍していただきたいと期待しております。信州大学の扉は皆さんに開いています。ぜひ多くの皆さんが「信州」に来て下さるようお願い申し上げます。

目 次

I 各学部に通ずる事項	3
1 入学定員及び募集人員	3
2 試験期日及び試験時間割	4
3 選抜試験実施方式・併願	5
4 出願資格	5
5 出願手続	5
6 入学者選抜方法	9
7 合格者の発表	10
8 入学手続	10
9 追加合格	11
10 障害等のある方の事前相談	11
11 個人情報の利用について	12
12 インターネットによる情報提供について	13
13 入試情報の開示について	13
II 学部別の事項	15
1 人文学部	16
入学者受入れの方針	16
前期日程	16
後期日程	18
2 教育学部	20
入学者受入れの方針	20
前期日程	21
後期日程	25
3 経法学部	29
入学者受入れの方針	29
前期日程	30
後期日程	32
4 理学部	34
入学者受入れの方針	34
前期日程	34
後期日程	37
5 医学部	41
入学者受入れの方針	41
前期日程	42
後期日程	44
6 工学部	46
入学者受入れの方針	46
前期日程	46
後期日程	48
7 農学部	50
入学者受入れの方針	50
前期日程	50
後期日程	52
8 繊維学部	53
入学者受入れの方針	53
前期日程	54
後期日程	55
III 入学志願票の記入例等	57
IV 各学部検査場案内	60

I 各学部に通ずる事項

1 入学定員及び募集人員

- (1) 入学定員には、AO入試（理学部）、推薦入試（教育学部、経法学部、医学部、工学部、農学部及び繊維学部）、帰国子女入試（人文学部、理学部、工学部、農学部及び繊維学部）、社会人入試（医学部及び工学部）及び私費外国人留学生入試の募集人員を含んでいます。
- (2) AO入試の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を後期日程の募集人員に、推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を前期日程の募集人員に、それぞれ加えます。

学部	学科・課程等		入学定員	募集人員(一般入試)		
				前期日程	後期日程	合計
人文学部	人 文 学 科		155	135	20	155
	計		155	135	20	155
教育学部	学校教育 教員養成 課程	現 代 教 育 コ ー ス	240	12	4	16
		野 外 教 育 コ ー ス		4	2	6
		国 語 教 育 コ ー ス		13	3	16
		英 語 教 育 コ ー ス		7	3	10
		社 会 科 教 育 コ ー ス		14	3	17
		数 学 教 育 コ ー ス		18	3	21
		理 科 教 育 コ ー ス		15	5	20
		音 楽 教 育 コ ー ス		8	3	11
		図画工作・美術教育コース		8	2	10
		保 健 体 育 コ ー ス		7	2	9
		ものづくり・技術教育コース		6	4	10
		家 庭 科 教 育 コ ー ス		10	2	12
		特 別 支 援 教 育 コ ー ス		10	5	15
		心 理 支 援 教 育 コ ー ス		9	2	11
	計		240	141	43	184
経法学部	応 用 経 済 学 科		100	60	20	80
	総 合 法 律 学 科		80	60	—	60
	計		180	120	20	140
理学部	数 学 科		54	24	30	54
	理 学 科	物 理 学 コ ー ス	151	20	14	34
		化 学 コ ー ス		20	14	34
		地 球 学 コ ー ス		10	15	25
		生 物 学 コ ー ス		15	14	29
		物 質 循 環 学 コ ー ス		13	12	25
	小 計			78	69	147
計		205	102	99	201	
医学部	医 学 科		120	100	—	100
	保健学科	看 護 学 専 攻	70	50	10	60
		検 査 技 術 科 学 専 攻	37	23	9	32
		理 学 療 法 学 専 攻	18	16	—	16
		作 業 療 法 学 専 攻	18	14	2	16
		小 計		143	103	21
	計		263	203	21	224
工学部	物 質 化 学 科		95	70	17	87
	電 子 情 報 シ ス テ ム 工 学 科		170	105	35	140
	水 環 境 ・ 土 木 工 学 科		60	38	14	52
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科		100	65	20	85
	建 築 学 科		60	44	15	59
	計		485	322	101	423
農学部	農学生命 科学科	生 命 機 能 科 学 コ ー ス	170	33	16	138
		動 物 資 源 生 命 科 学 コ ー ス		28		
		植 物 資 源 科 学 コ ー ス		33		
		森 林 ・ 環 境 共 生 学 コ ー ス		28		
	計		170	122	16	138
繊維学部	先 進 繊 維 ・ 感 性 工 学 科		65	25	20	45
	機 械 ・ ロ ボ ッ ト 学 科		60	27	27	54
	化 学 ・ 材 料 学 科		105	58	32	90
	応 用 生 物 科 学 科		50	23	15	38
	計		280	133	94	227
合 計			1,978	1,278	414	1,692

2 試験期日及び試験時間割（詳しくは16ページ以降の各学部の説明事項を参照してください。）

（1）前期日程

【平成30年2月25日（日）】

時刻	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人文学部					総合問題 13:00～16:00				
教育学部	数学(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B) 9:00～11:00				国語 外国語 13:00～14:30			地理歴史, 公民 15:30～17:00	
	数学(Ⅰ・Ⅱ・A・B) + 理科1科目 9:00～11:30								
	理科2科目 9:00～12:00								
経法学部					数学 13:00～15:00			国語 外国語 16:00～17:30	
理学部					数学(数学科) 13:00～16:00				
	理科(物理学コース) 9:00～10:30								
	理科(化学コース) 9:00～10:30								
	面接(地球学コース, 生物学コース) 9:00～								
	小論文(物質循環学コース) 9:00～11:00								
医学部	理科(医学科) 9:00～11:30				数学(医学科) 13:00～15:00			外国語(医学科) 16:00～17:30	
					数学(保健学科) 13:00～15:00			外国語(保健学科) 16:00～17:30	
工学部	理科 9:00～10:30				数学 13:00～15:00				
農学部	理科 9:00～10:30								
繊維学部	理科 9:00～10:30								

【平成30年2月26日（月）】

時刻	9	10	11	12	13	14	15	16	17
教育学部	実技検査(美術) 9:00～12:00				小論文 13:00～14:30				
		実技検査(音楽), 実技検査(運動) 10:00～17:30頃							
医学部	面接(医学科) 9:00～								

（2）後期日程

【平成30年3月12日（月）】

時刻	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
人文学部					小論文 13:00～15:00						
教育学部	実技検査(運動) 9:00～17:30頃										
		実技検査(音楽) 10:00～17:30頃									
					面接 13:00～17:30頃						
経法学部	数学 9:00～10:30										
理学部	数学 9:00～11:30					理科 13:00～14:30					
医学部	面接(保健学科) 9:00～										
工学部	面接(物質化学科) 9:00～										
	数学(物質化学科を除く) 9:00～11:00										
農学部	面接 9:00～										
繊維学部	数学 9:00～11:00				理科 13:00～14:30						

3 選抜試験実施方式・併願

本学は、学部・学科等の入学定員を分割し、「前期日程」及び「後期日程」によりそれぞれ入学者を募集する「分離分割方式」で入学者選抜を実施します。

国公立大学への志願者は、「前期日程」で募集する大学・学部から一つ、「後期日程」で募集する大学・学部から一つ、合計二つの大学・学部に出願することができます。

したがって、「前期日程」と「後期日程」の併願はできますが、「前期日程」と「前期日程」、「後期日程」と「後期日程」のそれぞれの併願はできませんので注意してください。

また、本学の学内併願についても、「前期日程」で募集する学部・学科等から一つ、「後期日程」で募集する学部・学科等から一つ、合計二つの学部又は同一学部の二つの学科等に出願することができます。

なお、併願の場合は、それぞれに出願書類を提出し、入学検定料を納めなければなりません。

4 出願資格

出願資格がある方は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、志望する学部・学科等が指定する平成30年度大学入試センター試験の教科・科目を受験した方とします。(15ページからの「Ⅱ学部別の事項」中の、各学部の大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等を参照してください。)

- (1) 高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含みます。以下この学生募集要項において単に「高等学校」といいます。)を卒業した方又は平成30年3月卒業見込みの方
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方又は平成30年3月修了見込みの方
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条第1号から第5号までの規定により高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる方又は平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの方
- (4) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる方又は平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの方で、平成30年3月31日までに18歳に達する方(次の(注)をご覧ください。)

(注) 上記出願資格(4)に該当する方で、平成30年度大学入試センター試験の受験後に個別の入学資格審査を希望する方は、次により申請してください。

- ・申請期限 : 平成30年1月16日(火)(17時までに必着)
- ・申請書等 : 申請書等手続については、本学学務部入試課(電話:0263-37-2192)に問い合わせてください。なお、この「個別の入学資格審査」については、本学のホームページ(入試情報ポータル/個別の入学資格審査)に掲載しています。http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/

※ 出願資格の詳細については、「平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内」の6～10ページを参照してください。

5 出願手続

(1) 出願期間

前期日程及び後期日程とも下記期間とします。

平成30年1月22日(月)から1月31日(水)まで

- ① 持参による受付は8時30分から17時までとし、土曜日と日曜日は受け付けません。
(人文学部、経法学部及び医学部は郵送のみとします。ただし、平成30年1月31日(水)(出願締切日)に限り持参による提出も受け付けます。)
- ② 郵送の場合は、指定の封筒(簡易書留速達郵便)によるものとします。出願締切日を過ぎて到着した場合は、**平成30年1月30日(火)までの消印**があるものに限り受け付けます。

なお、1月24日（水）からインターネットで出願状況をお知らせします。詳しくは13ページの「12 インターネットによる情報提供について」を参照してください。

(2) 出願方法

出願書類等は、この募集要項に添付する封筒（「前期日程用」又は「後期日程用」）に一括して入れ、出願期間内（郵送の場合は平成30年1月30日までの消印有効）に志望する学部へ郵送（簡易書留速達に限ります。）又は持参してください。（人文学部、経法学部及び医学部は1月31日（水）を除き郵送のみ。）また、出身学校を経て提出する場合、学校は志願者各人の必要書類を指定の封筒（「前期日程用」又は「後期日程用」）に入れ、当該学校の分を一括して提出してください。

なお、5ページの「4 出願資格（4）」で、個別の入学資格審査により「信州大学入学資格認定書」の交付を受けた方は、その写しを添付してください。

（注）本学の「前期日程」と「後期日程」の二つの日程に併願する場合には、それぞれの日程の指定の封筒に入れて別々に提出してください。

(3) 出願書類等提出先

提 出 先		問い合わせ先(電話)
人 文 学 部 入試事務室	〒390-8621 松本市旭 3 - 1 - 1	0263-37-3458
経 法 学 部 入試事務室		0263-37-3312
理 学 部 入試事務室		0263-37-2439
医学部医学科 入試事務室		0263-37-3419
医学部保健学科 入試事務室		0263-37-2357
教 育 学 部 入試事務室	〒380-8544 長野市西長野 6 の口	026-238-4044
工 学 部 入試事務室	〒380-8553 長野市若里 4 - 1 7 - 1	026-269-5055
農 学 部 入試事務室	〒399-4598 上伊那郡南箕輪村 8 3 0 4	0265-77-1310
繊維学部 入試事務室	〒386-8567 上田市常田 3 - 1 5 - 1	0268-21-5310

(4) 出願書類等

◎印は、本学指定の様式（この募集要項に添付する出願書類等郵送用封筒に同封されています。）

	出 願 書 類 等	摘 要
1	◎ 入学志願票(A)(B) ◎ 受験票 ◎ 写真票	この募集要項に添付する用紙（「前期日程（水色）」・「後期日程（ピンク色）」）に所要事項を記入してください。受験票、写真票には平成30年度大学入試センター試験の受験票に使用したものと同一写真（紛失したり汚損した場合は出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、背景なしの写真（縦4cm×横3cm、白黒・カラーは問いません。))を指定欄に貼ってください。検査場において不審をもたれないように眼鏡・髪型等に注意してください。受験票、写真票とも同じ写真を使用してください。 なお、写真用紙以外の紙に印刷された写真は使用できませんので、ご注意ください。 （注）「入学志願票(A)(B)」の記入にあたっては、57ページからの「Ⅲ 入学志願票の記入例等」を参照してください。
2	大学入試センター試験成績請求票 国公立前期日程用 国公立後期日程用	大学入試センターから交付された平成30年度大学入試センター試験成績請求票のうち、前期日程出願者は「国公立前期日程用」、後期日程出願者は「国公立後期日程用」をそれぞれの志願票（B面）の指定欄に貼ってください。

3	調 査 書	① 高等学校を卒業した方又は平成30年3月卒業見込みの方は、出身学校長が文部科学省の定めた様式により作成のうえ厳封したものでなければなりません。 (注)「指導に関する記録」の保存期間(5年)を超えている場合、その記載を省略したものを提出しても構いません。また、「学籍に関する記録」の保存期間(20年)を超えたため、あるいは廃校、被災その他の事情により出身学校長の調査書が得られない場合は、次のア及びイの書類をもって調査書に代えることができます。 ア 卒業証明書 イ 成績証明書又は単位取得証明書、成績通信簿の写し等、入学志願者が提出できる書類(発行年月日は問わない。) ② 高等専門学校第3学年を修了した方又は平成30年3月修了見込みの方並びに文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方又は平成30年3月修了見込みの方は、出身学校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えることができます。 ③ 高等学校卒業程度認定試験及び大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書(発行年月日は問わない。)をもって調査書に代えることができます。 ただし、高等学校等において科目を修得したことにより受験科目を免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の調査書又は成績証明書を添えてください。 ④ 外国において学校教育における12年の課程を修了した方又はこれに準ずる方で文部科学大臣の指定したもの及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した方は成績証明書、国際バカロレア資格取得者及びフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格取得者は試験成績証明書、ドイツ連邦共和国のアビトゥア資格取得者は一般的大学入学資格証明書、GCE Aレベル資格取得者は成績評価証明書をもって調査書に代えることができます。 ⑤ 本学に個別の入学資格審査を申請し、入学資格を認められた方は、調査書に代えて信州大学入学資格認定書(写)を提出してください。 (注)本学の「前期日程」、「後期日程」の二つの日程に併願する場合には、それぞれの日程について、1通ずつ提出してください。
4	◎入学検定料納付確認書(A票)	① 入学検定料17,000円をこの募集要項に添付する振込依頼書(C票)を使用して、平成30年1月15日(月)から1月31日(水)までの間に金融機関から「電信扱い」で振り込んでください。振込みには別途振込手数料が必要です。なお、郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込みはできません。また、ATM(現金自動預支払機)、携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。 ② 振込み後、納付確認書(A票)及び領収書(B票)を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、納付確認書(A票)を提出してください。 また、「取扱金融機関収納印」欄に、平成30年1月31日(出願期間最終日)までの収納印があるものに限り有効となりますので、特に出願期間最終日に振り込む場合には、金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ行ってください。 ③ 出願期間最終日に持参により提出する方で、金融機関の窓口業務取扱時間内に振込みができなかった方に限り、現金による納付を受け付けます。

5	◎受験票等送付用封筒	この募集要項に添付する封筒〔長形3号（12cm×23.5cm）〕に入学志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、372円分の切手（速達料を含む。）を貼ってください。
6	◎ラベル票	この募集要項に添付する用紙に所要事項を記入してください。
7	医学部医学科のみ該当 ◎志願調書	医学部医学科の志願者は、この募集要項に添付する用紙に所要事項を記入してください。
	◎出願書類等到着通知はがき	医学部医学科の志願者は、この募集要項に添付するはがきに入学志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、62円分の切手（速達を希望する場合は342円分の切手）を貼ってください。
8	教育学部のみ該当 ◎教育学部実技検査（音楽）受験曲目届及び声楽の伴奏用楽譜（前期日程・後期日程）	教育学部音楽教育コース志願者は、次のとおり提出してください。 ○前期日程・後期日程…実技検査（音楽）受験曲目届（全員提出） ○前期日程…〔必須〕声楽の伴奏用楽譜（全員提出） 〔選択〕声楽の伴奏用楽譜（声楽を選択受験する方のみ提出） （楽譜の様式は23ページ「3 実技検査の内容」を参照） ○後期日程…声楽の伴奏用楽譜（全員提出） （楽譜の様式は27ページ「3 実技検査の内容」を参照）
	◎教育学部実技検査（美術）受験種目届（前期日程）	教育学部図画工作・美術教育コース志願者のうち実技検査を選択受験する方は、提出してください。
	◎教育学部実技検査（運動）選択種目届（前期日程）	教育学部野外教育コース、保健体育コース志願者は、提出してください。
	◎教育学部実技検査（運動）受験種目届（後期日程）	教育学部野外教育コース、保健体育コース志願者は、提出してください。

【出願書類等記入上の注意】

- ・必ず志願者本人が黒か青のボールペン又はインクで記入してください（病気・負傷や障害等のために記入が困難な場合は、保護者等が記入してください）。
- ・誤って記入した場合は、誤った箇所に二重線を引き、訂正してください。
- ・◎印の様式中の※印欄は記入しないでください。

(5) 出願に際しての注意事項

- ① 国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除きます。以下同じ。）の推薦入試の合格者は、当該推薦入試を実施した大学・学部の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、本学各学部の個別学力検査等を受験しても、合格者とはなりませんので注意してください。
※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照
- ② 国公立大学・学部のAO入試の合格者は、当該AO入試を実施した大学・学部の定める入学辞退手続により入学を辞退した場合を除いて、本学各学部の個別学力検査等を受験しても、合格者とはなりませんので注意してください。
- ③ 出願書類等に不備があるものは、受理しません。
- ④ 出願書類等を提出した後、10日間を経過しても「受験票」又は「出願書類等到着通知」が到着しないなど、出願学部の入試事務室からの連絡がない場合は、同事務室に電話で問い合わせてください。
- ⑤ 受理した出願書類は、出願受け付け後に大学入試センター試験の受験科目の不足等により出願資格がないことが判明した方以外には、どのような事由があってもお返しできません。
- ⑥ 納入済みの検定料は、出願書類を受理した後は2段階選抜における第1段階選抜の結果不

合格となった方及び出願受け付け後に大学入試センター試験の受験科目の不足等により出願資格がないことが判明した方以外にはお返しできません。

なお、検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、本人の請求により納入された検定料（二重に振り込んだ場合は重複して納入された分）の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ（入試情報ポータル／入学検定料返還手続）をご覧ください。（http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）

（注）第1段階選抜の結果不合格となった方に対しては、検定料17,000円のうち13,000円をお返しします。なお、返還手続については、不合格通知書に同封しお知らせします。

また、出願受け付け後に大学入試センター試験の受験科目の不足等により出願資格がないことが判明した方に対しては、出願書類及び検定料17,000円のうち13,000円をお返しします。なお、検定料の返還手続については、出願書類をお返しする際に同封しお知らせします。

- ⑦ 出願手続後の出願書類等の志望学部、学科、課程、コース及び専攻の変更は、認めません。
- ⑧ 受験科目は、志願票に記入したものからの変更は、認めません。
- ⑨ 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消します。
- ⑩ 出願書類等の提出後、受信場所（志願者連絡先）を変更した場合は、直ちに出席した学部
の入試事務室に届け出てください。

6 入学者選抜方法

- （1）入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、本学が実施する個別学力検査等の成績及び調査書の内容（医学部医学科については、志願調査書の内容を加えます。）を総合して行います。

（2）2段階選抜

医学部医学科の前期日程においては、綿密な選抜を実施するため、志願者数が募集人員の5倍を超えた場合には、大学入試センター試験の成績、調査書の内容及び志願調査書の内容を総合して第1段階選抜を行い、その合格者について、個別学力検査及び面接を実施します。（42 ページ参照）

（3）不正行為

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、それ以後の受験はできません。また、すでに受験した本学のすべての教科・科目の成績も無効となります。
 - ア 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど。）をすること。
 - イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、参考書の内容や他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
 - ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - カ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - キ 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
 - ク 試験時間中に使用を許可されたもの以外の用具を使用して問題を解くこと。
 - ケ 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」等の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- ② 上記①以外にも次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、①と同様です。
 - ア 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類や使用を許可されたもの以外の用具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。

- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- エ 検査場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ 検査場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

(4) 過去問題の使用

- ① 本学及び各学部の「入学者受入れの方針」に沿った選抜を実現するため、必要な範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- ② 入試過去問題を使用して出題する際は、そのまま使用することもありますし、一部を改変することもあります。
- ③ 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、次のURLをご覧ください。
「入試過去問題活用宣言」ホームページアドレス <http://www.nyushikakomon.jp/>

7 合格者の発表

前 期 日 程	後 期 日 程
平成 30 年 3 月 6 日（火）14 時	平成 30 年 3 月 20 日（火）14 時

全学部の合格者受験番号を松本キャンパス内に掲示するとともに、同日中に合格者に対し合格通知書及び入学手続書類を発送し、公式発表とします（不合格の方には通知しません。）。

また、教育学部・工学部・農学部・繊維学部では、構内掲示板に当該学部の合格者受験番号を掲示します。

※インターネット発表

信州大学ホームページ（入試情報ポータル）及び信州大学携帯電話サイトにも合格者の受験番号を速報掲載しますが、必ず公式発表を確認してください。

ホームページアドレス http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/
携帯電話サイトアドレス <http://daigakujc.jp/shinshu-u/>



- （注 1）電話やメール等による可否の問い合わせには、応じられません。
- （注 2）後期日程の出願者で、前期日程（本学を含む国公立大学）に合格し、当該大学の入学手続を行った方は、後期日程を受験していても、本学の後期日程の合格者とはなりません。
- （注 3）合格通知書に記載する氏名については、大学入試センター試験の際に使用した漢字（JIS 漢字コードの第 1・第 2 水準以外の文字を含む場合は置き換えられたもの）とします。

8 入学手続

合格者は、入学手続期間内に入学料を納入するとともに、原則として郵送により必要な書類を提出してください。

なお、詳細については、合格通知書に同封しお知らせしますので、必ずご覧ください。

(1) 入学手続期間

前期日程	平成30年3月 7日（水）～3月15日（木）締切日17時までに必着
後期日程	平成30年3月22日（木）～3月27日（火）締切日17時までに必着

（注）持参する場合の入学手続の受付時間は、8 時 30 分から 17 時までとし、土曜日及び日曜日は受け付けません。

(2) 入学手続書類提出先

各学部入試事務室（6ページの「5 (3) 出願書類等提出先」と同じです。）

書類が揃わない等の事情により、郵送では間に合わない方は、締切日の17時までに、各学部入試事務室又は学務部入試課へ直接持参してください。

(3) 納付金の納入等

① 初年度納付金（入学料・授業料）の額

ア 入学料 282,000円

イ 授業料（前・後期）各267,900円〔年額 535,800円〕

（注）金額は平成29年4月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、合格通知書に同封しお知らせします。

② 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

③ 入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度（授業料のみ）がありますので、希望される方は、合格通知書に同封される入学料免除・授業料免除等に関する書類をよく読んで願い出てください。

(4) 手続に当たっての注意事項

① 入学手続書類を受領したら、なるべく早く入学手続を行ってください。

② それぞれ定められた入学手続締切期日までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。

③ 本学への入学手続を完了した方は、これを取り消して他の国公立大学への入学手続を行うことはできません。

また、同様に、他の国公立大学への入学手続を完了した方は、これを取り消して本学への入学手続を行うことはできません。

④ 入学手続完了者であっても平成30年3月までに入学資格を満たすことができない方は入学を許可しません。

(5) 提出書類等

本学入学に必要な誓約書などの提出すべき書類については、学部によって異なるので、合格通知書に同封しお知らせします。

（注）入学手続には、「平成30年度大学入試センター試験の受験票」及び「本学の受験票」が必要となりますので、絶対に紛失しないでください。

9 追加合格

平成30年3月27日（火）の入学手続締切後、入学手続完了者が募集人員に満たないときは、追加合格を行います。追加合格者には3月28日（水）から3月31日（土）までの間に入学志願票に記載されている「受信場所（志願者連絡先）」へ電話により直接連絡しますので、直ちに本人に電話連絡がとれるようにしておいてください。

（注1）他の国公立大学への入学手続を完了した方は、それを取り消して本学の追加合格による入学手続を行うことはできません。

（注2）本学の前期日程・後期日程の合格者で、それぞれの入学手続期間に入学手続を行わなかった方は、追加合格の対象とはしません。

なお、3月27日（火）入学手続締切後から3月31日（土）までインターネットで追加合格実施状況をお知らせします。詳しくは13ページの「12 インターネットによる情報提供について」を参照してください。

10 障害等のある方の事前相談

この募集要項により本学に入学を志願する方で、障害（別表参照）等のために受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前に、次の事項を記載した書面を提出してください。

なお、重度の障害のある方は、できる限り早い時期に相談してください。

※ 書面の様式は問いませんが、本学のホームページ（入試情報ポータル／障害等のある方の事前相談）から申込様式をダウンロードいただけます。

(http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/)

（注）日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、検査場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので、障害等のある方の受験や修学を制限するものではありません。

（１）提出期限 平成 30 年 1 月 19 日（金）まで

（２）書面に記載する内容

- ① 氏名、住所、電話番号
- ② 出身学校名
- ③ 志願学部、学科等（第 2 志望がある場合、それも記載してください。）
- ④ 出願を希望する入試（前期日程・後期日程の別）
- ⑤ 障害等の種類・程度（現に治療中の方は、医師の診断書を添付してください。）
- ⑥ 受験上の配慮を希望する事項（大学入試センターから「受験上の配慮事項決定通知書」の交付を受けた方は、複写（コピー）したものを添付してください。）
- ⑦ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑧ 出身学校でとられていた修学上の配慮
- ⑨ 日常生活の状況

（３）提出先及び問い合わせ先

信州大学学務部入試課 〒390-8621 松本市旭 3－1－1 電話 0263-37-2192

（４）提出期限後の不慮の事故等による場合の配慮

提出期限後に不慮の事故等により配慮が必要となった場合は、その際にご相談ください。

〈別表〉

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害	良い方の目の矯正視力が 0.15 以下のもの、両眼による視野について視能率による損傷率が 90%以上のもの、その他視覚に関する配慮を必要とするもの
聴覚障害	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
発達障害	自閉症スペクトラム障害、自閉症、アスペルガー障害、広汎性発達障害、学習障害、注意欠如・多動性障害等のために配慮を必要とするもの
病 弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ の 他	上記以外で、受験上及び修学上配慮を必要とする程度のもの

11 個人情報の利用について

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については、入学者選抜のほか次の目的のために利用します。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 学習指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。
また、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合格及び入学手続等に関する情報を、大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

12 インターネットによる情報提供について

次の事項について、インターネットによりお知らせします。

信州大学ホームページ（入試情報ポータル）又は信州大学携帯電話サイトにアクセスしてください。

ホームページアドレス http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/

携帯電話サイトアドレス <http://daigakuic.jp/shinshu-u/>



① 出願状況について

期 間	平成30年1月24日（水）～3月12日（月）まで
情報の更新	志願者数が確定するまでの間、毎日18時30分頃更新します。 ただし、土曜日、日曜日及び祝日は更新しません。

② 合格者受験番号（速報）について

期 間	前期日程：3月 6日（火）（合格発表日）～3月15日（木）まで 後期日程：3月20日（火）（合格発表日）～3月27日（火）まで ※必ず公式発表（合格通知書又は学内掲示）で確認してください。
-----	--

③ 追加合格実施状況について

期 間	平成30年3月27日（火）入学手続締切後～3月31日（土）まで
-----	---------------------------------

13 入試情報の開示について

本選抜に係る入試情報を次のとおり開示します。

(1) 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数

開示方法：ホームページ（入試情報ポータル／過去の選抜状況）

開示時期：平成30年4月以降

ホームページアドレス http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/

(2) 試験成績等

① 合格最高点・最低点及び合格者の平均点等についての資料

各学部とも学科・コース・専攻ごとに開示します。教育学部はコースごとに受験者の平均点も開示します。ただし、合格者が10名未満の学科等については、非開示とすることがあります。

② 出題意図等

人文学部	総合問題，小論文	医 学 部	数学，外国語，理科
教育学部	小論文	工 学 部	数学，理科
経法学部	国語，数学，外国語	農 学 部	理科
理 学 部	数学，理科，小論文	繊維学部	数学，理科

開示方法：ホームページ（入試情報ポータル／過去問題・出題意図）

開示時期：平成30年4月以降

ホームページアドレス http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/

(3) 個人情報

① 試験成績

人文学部	センター試験，個別学力検査等の科目ごとの得点と総合点並びに総合点の順位
経法学部	センター試験及び個別学力検査の得点の総合点による順位
教育学部 理学部 工学部 農学部 繊維学部	センター試験，個別学力検査等の科目ごとの得点と総合点並びに学科（コース）別総合判定ランク区分
医学部	センター試験，個別学力検査の科目ごとの得点と合計点並びに総合判定結果

（注）個別学力検査で得点調整を行った場合は，調整後の得点による結果を開示します。

② 調査書

客観的事実に係る記録部分のみを開示します。ただし，「特別活動の記録」，「指導上参考となる諸事項」，「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」に係る部分を除きます。

開示方法：①の試験成績は，開示請求による郵送を原則とします。

②の調査書は，窓口での閲覧のみとします。

請求者：原則として受験者本人とします。

請求方法：「入試情報開示請求書」に所要事項を記入し，下記の開示請求先に郵送（又は持参）してください。

なお，「入試情報開示請求書」は，本学のホームページ（入試情報ポータル／入試成績等の開示）からダウンロードしてください。

(http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/)

※ 受験者本人であることを確認するとともに，受験番号を照合するため，**本学の受験票を必ず添付してください。（コピー不可）**

※ 試験成績の郵送を希望する場合は，返信用封筒〔長形 3 号（12 cm×23.5 cm）に郵便番号，住所，氏名を明記し，簡易書留料金を含む 402 円分の切手を貼ったもの〕を同封してください。

受付期間：平成30年5月1日（火）～5月31日（木）

※ 郵送の場合は，5月31日までの消印有効

※ 持参の場合の受付時間は8時30分から17時までとし，土曜日，日曜日及び祝日は受け付けません。

開示時期：平成30年7月9日（月）～8月3日（金）

開示請求先：信州大学学務部入試課

〒390-8621 松本市旭 3－1－1 電話 0263-37-3450

Ⅱ 学部別の事項

各学部共通の注意事項

【「実施教科・科目等、配点及び合否判定基準」の教科・科目名等の表記について】

① 大学入試センター試験の利用教科・科目名等は次のように略しています。

- 国語 → 「国」
「国語」 → 「国」
- 地理歴史 → 「地歴」
「世界史A」 → 「世A」, 「世界史B」 → 「世B」, 「日本史A」 → 「日A」, 「日本史B」 → 「日B」,
「地理A」 → 「地理A」, 「地理B」 → 「地理B」
- 公民 → 「公民」
「現代社会」 → 「現社」, 「倫理」 → 「倫」, 「政治・経済」 → 「政経」, 「倫理, 政治・経済」 → 「倫・政経」
- 数学 → 「数」
「数学Ⅰ」 → 「数Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」 → 「数Ⅰ・数A」, 「数学Ⅱ」 → 「数Ⅱ」,
「数学Ⅱ・数学B」 → 「数Ⅱ・数B」, 「簿記・会計」 → 「簿」, 「情報関係基礎」 → 「情報」
- 理科 → 「理」
「物理基礎」 → 「物基」, 「化学基礎」 → 「化基」, 「生物基礎」 → 「生基」, 「地学基礎」 → 「地学基」,
「物理」 → 「物」, 「化学」 → 「化」, 「生物」 → 「生」, 「地学」 → 「地学」
- 外国語 → 「外」
「英語」 → 「英」, 「ドイツ語」 → 「独」, 「フランス語」 → 「仏」, 「中国語」 → 「中」, 「韓国語」 → 「韓」

② 個別学力検査等の出題教科・科目名は、上記①と同様に略すほか、次のように略しています。

「数学Ⅲ」 → 「数Ⅲ」, 「数学A」 → 「数A」, 「数学B」 → 「数B」

【個別学力検査における各科目の出題範囲について】

個別学力検査で課す各科目のうち特に出題範囲を指定していない科目については、すべてを出題範囲とします。

1 人文学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/arts/>)

〈入学者受入れの方針〉

人文学部の教育目標は、学部教育で培った「実践知」を基盤に批判的思考力を駆使できる、専門領域についての深い知識と領域横断的な課題を解決する能力とを兼ね備えた人材の育成です。そのために高等学校等を卒業するまでに学習するすべての教科についての基礎知識を習得しておく必要があります。人文学部には哲学・芸術論コース、文化情報論・社会学コース、心理学・社会心理学コース、歴史学コース、比較言語文化コース、英米言語文化コース、日本言語文化コースの7つのコースがあり、これらのコースのもとに計18の専門分野があります。入学試験は人文学部として実施し、2年次進級時に分野を選んで専門をより深く学びます。

本学部で学ぶために、以下のことを身につけておいてください。

1. 高等学校等における学習内容についての幅広い理解
2. 人文学諸分野の基礎となる国語、地理歴史、公民、外国語を中心とした高等学校等での学習内容への深い理解
3. 人間、社会、歴史、文化、言語、文学、情報、芸術などへの強い興味や関心
4. それらを探究し表現することの基本的な思考力とコミュニケーション能力

上記の素養を持つ学生を幅広く選抜するために、信州大学人文学部は以下の入学試験を実施します。

【一般入試（前期日程）】

前期日程では、1に対しては大学入試センター試験を課すとともに、個別学力検査では2～4を重視して、特定の教科・科目に限定されない「総合問題」を課します。

【一般入試（後期日程）】

後期日程では、1に対しては大学入試センター試験で、国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語を課すとともに2に対応させた配点を用い、個別学力検査では3と4を特に重視した「小論文」を課します。

【帰国子女入試】（略）、【私費外国人留学生入試】（略）、【第3年次編入学入試】（略）

〈前期日程〉

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
人 文 学 科	1 3 5 人
計	1 3 5 人

2 実施教科・科目等、配点及び合否判定基準

平成30年度大学入試センター試験において、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

大学入試センター試験の受験科目を下表の確認欄を用いて志願者自身がチェックし、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで出願するようにしてください。

※教科・科目等の略表記については、15ページを参照してください。

大学入試センター試験の利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										
教科	科目名等		受験を要する科目等	確認欄	教科等	科目名等	区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	配点合計	
国	①	国	左の科目	① 又は ② ※1	その他	総合問題	センター	*200	*100	*100	*200	*100	200		500	
数	②	数Ⅰ、数Ⅰ・数A	左の2科目から 1科目選択													
		数Ⅱ、数Ⅱ・数B、 簿、情報	左の4科目から 1科目選択													
地歴	③	世B、日B、地理B	左の7科目から 1科目選択	③ 又は ④ 又は ⑤ ※4			個別								300	300
公民		現社、倫、政経、 倫・政経	※2													
理	④	物基、化基、生基、 地学基	左の4科目から 2科目選択													
	⑤	物、化、生、地学	左の4科目から 1科目選択 ※3													
外	英、独、仏、中、韓		左の5科目から 1科目選択		計	*200	*100	*100	*200	*100	200	300	800			
〔3教科3科目〕又は〔3教科4科目〕又は〔3教科5科目〕																

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。「英語」を受験した方の得点については、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

※1 「国語」及び「数学」の2教科を受験した方については、いずれか得点の高い教科の成績を利用します。

※2 「地理歴史」及び「公民」から2科目を受験した方については、第2解答科目の成績は利用しません。なお、「地理歴史」及び「公民」から2科目を受験する方については、第1解答科目で「世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経」のいずれかの受験を要します。

※3 「物、化、生、地学」から2科目を受験した方については、第2解答科目の成績は利用しません。

※4 以下の(ア)又は(イ)に該当する方については、a～cのうち最も得点の高い成績を利用します。

(ア)「地理歴史又は公民」及び「理科」の2教科を受験した方

(イ)「物基、化基、生基、地学基」及び「物、化、生、地学」から3科目を受験した方

a 「地理歴史又は公民」の得点

b 「物基、化基、生基、地学基」から2科目合計の得点

c 「物、化、生、地学」の得点

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に *印を付してある教科は選択教科を表します。

【合否判定基準】

大学入試センター試験と個別学力検査等の合計点（本学部の定める配点に基づく）、及び調査書の内容を総合して判定します。

3 個別学力検査等の実施内容－採点・評価基準

「総合問題」

「総合問題」とは、大学入試センター試験では計れない読解力、思考力、表現力、想像力などを、高等学校で学習したことを基にして総合的に問う問題です。

4 個別学力検査等の日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	教科及び時間
2月25日(日)	総合問題 13:00～16:00

(2) 検査場

① 「入学志願票(前期日程用)」の検査場欄の希望する検査場の所定欄に○印を記入してください(出願書類受理後の希望検査場の変更は、認めません。)

② 検査場は、出願書類の受付順に下記のとおり決定します。

松本検査場希望者：全希望者、松本検査場に決定します。

東京検査場希望者：検査場の最大収容者数に達するまでは、東京検査場に決定します。

例年、全希望者、東京検査場に決定していますが、万一、検査場の最大収容者数に達した場合、以降の希望者は松本検査場に決定します。

③ 決定した検査場は受験票に明示し、その詳細については、受験票に同封して通知します。

なお、決定した検査場以外では、いかなる理由があっても受験できません。

※ 東京検査場に関する問い合わせは、二松學舎大学へは一切行わないでください(信州大学人文学部入試事務室(Tel0263-37-3458)にお問い合わせください。)

〈松本検査場〉 信州大学松本キャンパス

松本市旭3-1-1

〈東京検査場〉 二松學舎大学九段キャンパス九段1号館

東京都千代田区三番町6-16

(60ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成30年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

5 その他

出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11ページを参照してください。

〈後期日程〉

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
人 文 学 科	20人
計	20人

2 実施教科・科目等、配点及び合否判定基準

平成30年度大学入試センター試験において、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

大学入試センター試験の受験科目を下表の確認欄を用いて志願者自身がチェックし、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで出願するようにしてください。

※教科・科目等の略表記については、15ページを参照してください。

大学入試センター試験の利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
教科	科目名等		受験を要する科目等	確認欄	教科等	科目名等	区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	配点 合計
国	国		左の科目		その他	小論文	センター	100	100		50	50	100		400
地歴	世B, 日B, 地理B		左の7科目から 2科目選択 ※1				個別							200	200
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経														
数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A		左の6科目から 1科目選択 ※2												
	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報														
理	①	物基, 化基, 生基, 地学基	左の4科目から 2科目選択 左の4科目から 1科目選択 ※3	① 又は ② ※4											
	②	物, 化, 生, 地学													
外	英, 独, 仏, 中, 韓		左の5科目から 1科目選択				計	100	100		50	50	100	200	600
〔5教科6科目〕又は〔5教科7科目〕又は 〔6教科6科目〕又は〔6教科7科目〕															

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。「英語」を受験した方の得点については、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

※1 「公民」においては、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。

※2 「数学」から2科目を受験した方については、いずれか得点の高い科目の成績を利用します。

※3 「物, 化, 生, 地学」から2科目を受験した方については、第2解答科目の成績は利用しません。

※4 「物基, 化基, 生基, 地学基」及び「物, 化, 生, 地学」から3科目を受験した方については、「物基, 化基, 生基, 地学基」から2科目合計の得点、又は「物, 化, 生, 地学」の得点のうち、いずれか得点の高い成績を利用します。

【合否判定基準】

大学入試センター試験と個別学力検査等の合計点（本学部の定める配点に基づく）及び調査書の内容を総合して判定します。

3 個別学力検査等実施日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	教科及び時間
3月12日(月)	小論文 13:00～15:00

(2) 検査場

後期日程の検査場は、松本検査場のみとなります。

〈松本検査場〉 信州大学松本キャンパス 松本市旭3-1-1

受験する検査場は受験票に明示し、その詳細については、受験票に同封して通知します。

(60ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成30年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

4 その他

出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11ページを参照してください。

2 教育学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/>)

〈入学者受入れの方針〉

教育学部では、「臨床の知」の理念のもと、附属学校園と一体となり、教育委員会や諸学校と連携し豊かな人間性と専門知識及び実践的な指導力を身につけた、明日の教育を担う人材の育成を目指しています。そのため本学部では次のような力を備えた学生を求めています。

- 1. 明日の教育を担う専門的知識や教養を身につけるために高等学校等を卒業するまでに習得する十分な基礎的学力、又はそれに相当する学力
- 2. 既存の知識を活用しながら自分で考え、判断し、他者と協働して問題を解決していくために不可欠で基本的な思考力や表現力
- 3. 教育者として子どもに寄り添い、理論と実践を往還させつつ自ら学び、社会の発展に寄与しようとする強い意志

本学部では、上記の素養を持つ学生を選抜するために以下の入学試験を実施します。

なお、教育学部には、現代教育コース、野外教育コース、国語教育コース、英語教育コース、社会科教育コース、数学教育コース、理科教育コース、音楽教育コース、図画工作・美術教育コース、保健体育コース、ものづくり・技術教育コース、家庭科教育コース、特別支援教育コース、心理支援教育コースがあり、入学者の選抜をコースごとに実施します。

これらの各コースで専門性を磨くとともに、小学校の教員を目指す学生には各教科に対する得手、不得手を超えて、各教科にわたる広い教養と確かな学力とを身につけることを求め、中学校・高等学校の教員を目指す学生には各教科の専門的な学力と実践的な指導力とを身につけることを求めています。このため、教育学部では、高等学校等において、それぞれの教科に対する基礎的で確かな学力と専門領域を深めるための学力を身につけておくことを望みます。

【一般入試（前期日程）】

前期日程では、1 に対しては大学入試センター試験で国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語を課すとともに、2 と 3 について、主としてコースに関連する教科を中心とした個別学力検査を課します。

【一般入試（後期日程）】

後期日程では、1 に対して大学入試センター試験で、国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語を課すとともにコースに関連する教科・科目の選択と配点とを用い、個別学力検査では 3 を特に重視した「面接」あるいは「実技」を課します。

【推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない入試）】（略）、【私費外国人留学生入試】（略）

《入学時までに身につけておくべき教科・科目等》

教科	身につけておくべき内容
国語	国語を的確に理解し、国語で効果的に伝え合うための思考力・判断力・表現力 また、現代文、古文、漢文における確かな知識・理解
地理歴史 公民	社会科（地理、歴史、公民分野）における基礎的な知識、及び多面的・多角的な 見方・考え方
数学	数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B）における基礎的な知識、及び数学的な ものの見方・考え方

理 科	理科（物理，化学，生物，地学から2分野以上）における基礎的な知識，及び科学的なものの見方・考え方
外 国 語	目的に応じて情報や考えなどを正確に理解したり表現したりする英語によるコミュニケーション能力
情 報	情報処理における基礎的な知識・技能
家 庭	家庭生活全般に関する基礎的な知識・技能に基づいた思考力，判断力，表現力
芸 術	芸術（音楽，美術，工芸，書道分野）に関する基礎的な知識・技能，及び表現力・鑑賞力
保健体育	スポーツや健康に関する基礎的な知識，及び基本的な運動能力

※ ただし，中学校・高等学校の教員を志望する学生には，上表で示されている教科・科目等の内容に加えて，教員免許状取得を希望する教科の内容及びその関連教科・科目等の内容に関する確かな学力を身につけておくことを望みます（例えば，「数学」及び「理科」の教員免許状取得を希望する学生については，「数学Ⅲ」を含めた数学全般の内容に関する専門的な学力を身につけておくことを望みます）。

〈前期日程〉

1 募集人員

課程・コース		募 集 人 員
学校教育教員養成課程	現 代 教 育 コ ー ス	12人
	野 外 教 育 コ ー ス	4人
	国 語 教 育 コ ー ス	13人
	英 語 教 育 コ ー ス	7人
	社 会 科 教 育 コ ー ス	14人
	数 学 教 育 コ ー ス	18人
	理 科 教 育 コ ー ス	15人
	音 楽 教 育 コ ー ス	8人
	図画工作・美術教育コース	8人
	保 健 体 育 コ ー ス	7人
	ものづくり・技術教育コース	6人
	家 庭 科 教 育 コ ー ス	10人
	特 別 支 援 教 育 コ ー ス	10人
	心 理 支 援 教 育 コ ー ス	9人
	計	141人

2 実施教科・科目等、配点及び合否判定基準

平成30年度大学入試センター試験において、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

大学入試センター試験の受験科目を下表の確認欄を用いて志願者自身がチェックし、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで出願するようにしてください。

※教科・科目等の略表記については、15ページを参照してください。

大学入試センター試験の利用教科・科目名				コース名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										
教科	科目名等		受験を要する科目等	確認欄	教科等	科目名等		区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	配点 合計		
国	国	左の科目			現代教育 コース	国	国語総合・国語表現・現代文A・現代文B・古典A・古典B	センター	200	*100	*100	200	100	200			800		
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B		左の10科目から 1科目選択 ※1		家庭科教育 コース	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B ※2	個別	*300			*300		*300			300		
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経			心理支援 教育コース	外	英 ※3	計	200 *500	*100	*100	200 *500	100	200 *500				1100		
数	数Ⅰ・数A		左の科目		野外教育 コース	その他	実技検査	センター	200	*100	*100	200	100	200			800		
	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報		左の4科目から 1科目選択	音楽教育 コース	個別									300		300			
理	①	物基, 化基, 生基, 地学基	左の4科目から 2科目選択	①又は ②	保健体育 コース			(運動)	計	200	*100	*100	200	100	200	300		1100	
外	②	物, 化, 生, 地学	左の4科目から 2科目選択		国語教育 コース	国	国語総合・国語表現・現代文 A・現代文B・古典A・古典B	センター	200	*100	*100	200	100	200			800		
	英	左の科目			英語教育 コース	外	英 ※3	個別	300								300		
〔5教科7科目〕					英語教育 コース	外	英 ※3	センター	200	*100	*100	200	100	200			800		
					社会科教育 コース	地歴	世B, 日B, 地理B	左の6科目 から1科目 又は2科目 選択 ※4	センター	200	*100	*100	200	100	200			800	
						公民	現社, 倫, 政経	左の3教科 から1教科 選択	個別	*150	150		*150				300		
						国	国語総合・国語表現・現代文A・現代文B・古典A・古典B		計	200 *350	250	200 *350	100	200 *350			1100		
						数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B ※2		センター	200	*100	*100	200	100	200			800	
					数学教育 コース	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B ※2	個別				300					300		
					理科教育 コース	数	① 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B ※2	①又は ②	計	200	*100	*100	500	100	200			1100	
						数	数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B ※2		左の5科目 から 2科目 選択	センター	200	*50	*50	200	150	200			800
						理	② 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地学基・地学		個別				*300 *150 *300	*150 *300				300	
					図画工作・美術 教育コース	その他	実技検査(美術)	左の2科目 から1科目 選択	計	200	*100	*100	200	100	200			1100	
							小論文	センター	200	*100	*100	200	100	200				800	
					ものづくり・技術 教育コース	数	① 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B ※2	①又は ②	個別				*300 *150 *300	*150 *300			300		
						数	数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B ※2		左の5科目 から 2科目 選択	計	200	*100	*100	200	100	200			1100
						理	② 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地学基・地学		個別				*300 *150 *300	*150 *300				300	

志望するコースと受験する教科・科目等は出願時に決めてください。その後の変更は認めません。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限り

ます。

「英語」は、リスニングを課します。筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目を受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

個別学力検査等の得点が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

※2 数学Bは「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

※3 英語は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」の全てを出題範囲とします。ただし、リスニングテスト及びスピーキングテストは課しません。

※4 「地理歴史、公民」は、各科目から2題、合計12題が出題され、試験当日に受験する2題を選択し、解答することとします。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

個別学力検査の理科は、理科教育コース及びものづくり・技術教育コースにおいては「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目から1科目又は2科目を選択し、1科目150点です。

理科教育コース及びものづくり・技術教育コースの個別学力検査等の配点欄中、上段は1科目を選択する場合の配点を、中・下段は2科目を選択する場合の配点を表します。

【合否判定基準】

配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

3 実技検査の内容

音楽教育コース

(1) 受験方法

- ① 次の「(2) 検査内容」に示された〔必須〕①、②、③の検査すべてを受験し、また、〔選択〕④、⑤、⑥のうちの一つを選択して受験してください。
- ② すべての受験曲は暗譜で演奏してください。声楽曲は原語で、オペラ・アリアは原調（ただし、習慣的に移調が認められている場合は除く。）で歌ってください。器楽曲は反復を省略してください。
- ③ 管・弦・打楽器は無伴奏で演奏してください。ただし、打楽器はスネアドラムのみ可とします。なお、楽器は携帯可能なものとし、各自持参してください。

(2) 検査内容

〔必須〕

- ① 聴 音：単旋律聴音を1課題（8～12小節）
- ② 声 楽：次の歌曲の中から1曲を選択してください。

Giordani, T.	Caro mio ben
Paisiello, G.	Nel cor più non mi sento
Scarlatti, A.	Sento nel core
瀧 廉太郎	荒城の月（第1、第2節のみ）〔山田耕筰編曲〕
中田 喜直	夏の思い出
成田 為三	浜辺の歌（第1、第2節のみ）
Brahms, J.	Wiegenlied
Mendelssohn, F. B.	Auf Flügeln des Gesanges
Schubert, F.	An die Musik

- ③ ピアノ：次のaまたはbを選択してください。
 - a. J. S. Bach作曲「インヴェンション」、「シンフォニア」、「平均律クラヴィーア曲集Ⅰ・Ⅱ」（「フーガ」のみは可、「プレリュード」のみは不可）の中から任意の1曲
 - b. ツェルニー作曲「40番練習曲集 op. 299」、「50番練習曲集 op. 740」、ショパン作曲「練習曲集 op. 10, op. 25」の中から任意の1曲

〔選択〕

- ④ 声 楽：イタリア歌曲、ドイツ歌曲、日本歌曲、オペラ・アリアの中から任意の1曲
- ⑤ ピアノ：ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのピアノ・ソナタの中から速度の速い任意の楽章
- ⑥ 管・弦・打楽器のいずれか：任意のエチュード又は楽曲

(3) 実技検査（音楽）受験曲目届（出願書類と共に提出）

この募集要項に添付する届出様式1を用いてください。（黒色のペン又はボールペンを使用）

(4) 声楽の伴奏用楽譜の提出

志願者が用意し、左上に氏名を明記の上、各ページともA4判（21.0cm×29.7cm）で簡易製本（屏風形）し、出願書類と共に提出してください。提出後の楽譜の差し替えはできません。なお、提出された楽譜は返却しません。

図画工作・美術教育コース

(1) 検査内容

次の①、②のうちから一つを選択して受験してください。

- ① 石膏デッサン：鉛筆により石膏像をデッサンする。
- ② 色彩構成：ケントボードの枠内に与えられたテーマでポスターカラーにより色彩構成する。

(2) 持ち物

石膏デッサン：鉛筆、消しゴム（練りゴム）

色彩構成：筆、パレット又は絵の具皿、筆洗、鉛筆、消しゴム、鉛筆削り

(3) 実技検査（美術）受験種目届（出願書類と共に提出）

- ① この募集要項に添付する届出様式2を用いてください。（黒色のペン又はボールペンを使用）
- ② 前記「(1) 検査内容」で選択した1種目を記入してください。

野外教育コース、保健体育コース

(1) 検査内容

次のA群・B群から各1種目（合計2種目）を選択して実技検査を受験してください。

A群＝1. 器械運動 2. 陸上競技 3. 剣道

B群＝1. バスケットボール 2. サッカー 3. バレーボール 4. ソフトボール

(2) 実技検査（運動）選択種目届（出願書類と共に提出）

- ① この募集要項に添付する届出様式3を用いてください。（黒色のペン又はボールペンを使用）
- ② 選択した種目は、変更できません。また、受験種目の内容についての問い合わせには一切応じられません。

(3) その他

① 実技検査に使用する運動用具に関する注意事項

- a. すべての受験者は、トレーニングウェア及び室内用と室外用の両方のシューズを持参してください。
- b. 選択した種目を受験するのに必要な運動の服装、用具、シューズ等を持参してください。
 - ・剣道の受験者は、剣道着、防具、竹刀を持参してください。
 - ・ソフトボールの受験者は、グローブを持参してください。
 - ・陸上競技ではスパイクシューズの使用はできません。また、天候や走路状況により、体育館内での検査となる場合もあります。

- ② 事前に健康診断を受けるなど健康管理に留意してください。また、万一の事故に備え、保険証を持参してください。

4 採点・評価基準

大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合して行います。

5 個別学力検査等の日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	時間帯	試験時間	教科・科目等
2月25日（日）	A	9:00～11:00	数学（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B）
		9:00～11:30	数学（Ⅰ・Ⅱ・A・B）＋理科（1科目）
		9:00～12:00	理科（2科目）
	B	13:00～14:30	国語
			外国語
	C	15:30～17:00	地理歴史、公民
2月26日（月）	D	9:00～12:00	実技検査（美術）※1
		13:00～14:30	小論文
		10:00～17:30頃	実技検査（音楽）※1、※2
			実技検査（運動）※1、※2

※1 詳細は「3 実技検査の内容」を参照してください。

※2 実施方法等は当日指示します。

(2) 検査場

信州大学長野（教育）キャンパス 長野市西長野6のロ

（60ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。）

（注） 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成30年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

6 第2志望について

(1) 本学部「前期日程」では、次のとおり第2志望のコースを選択することができます。

- ① 受験する教科・科目等と同一の教科・科目等を指定している他のコースがあれば、その中から一つだけを選んで第2志望のコースとすることができます。

また、第2志望とするコースが第1志望とするコースの受験科目を課していない場合に限り、その他の科目を受験して、その科目を課すコースを第2志望とすることもできます。ただし、受験時間帯が重なる科目を受験することはできません。

- ② 第2志望のコースがなければ、希望しなくてもかまいません。

(2) コース別・試験時間帯別の教科・科目等一覧

期 日		2月25日(日)						2月26日(月)			
時 間 帯		A			B		C	D			
試験時間		9:00～ 11:00	9:00～ 11:30	9:00～ 12:00	13:00～ 14:30		15:30～ 17:00	9:00～ 12:00	13:00～ 14:30	10:00～17:30頃	
教科・科目等 課程・コース		数学 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・ A・B)	数学(Ⅰ・ Ⅱ・A・B)+ 理科1科目	理科2科目	国語	外国語	地理歴史、 公民	実技検査 (美術)	小論文	実技検査 (音楽)	実技検査 (運動)
学校教育 教員養成課程	現代教育コース	○			○	○					
	野外教育コース										○
	国語教育コース				○						
	英語教育コース					○					
	社会科教育コース	○			○	○	○				
	数学教育コース	○									
	理科教育コース	○	○	○							
	音楽教育コース									○	
	図画工作・美術教育コース							○	○		
	保健体育コース										○
	ものづくり・技術教育コース	○	○	○							
	家庭科教育コース				○	○					
	特別支援教育コース	○									
	心理支援教育コース										

7 その他

出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11ページを参照してください。

〈後 期 日 程〉

1 募集人員

課程・コース		募 集 人 員
学校教育 教員養成課程	現代教育コース	4人
	野外教育コース	2人
	国語教育コース	3人
	英語教育コース	3人
	社会科教育コース	3人
	数学教育コース	3人
	理科教育コース	5人
	音楽教育コース	3人
	図画工作・美術教育コース	2人
	保健体育コース	2人
	ものづくり・技術教育コース	4人
	家庭科教育コース	2人
	特別支援教育コース	5人
	心理支援教育コース	2人
計		43人

2 実施教科・科目等，配点及び可否判定基準

平成30年度大学入試センター試験において，本学部（コース）が指定した以下の教科・科目を受験して
いない場合は，出願することができません。

大学入試センター試験の受験科目を下表の確認欄を用いて志願者自身がチェックし，本学の出願資格を
満たすことを必ず確認したうえで出願するようにしてください。

※教科・科目等の略表記については，15ページを参照してください。

大学入試センター試験の利用教科・科目名					個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等		受験を要する科目等	確認欄	コース名	教科等	科目名等	区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	面接	配点 合計			
国	国	左の科目			現代教育 コース	その他	面接 ※5	センター	150	*100	*100	150	100	150			650			
					特別支援 教育コース			個別										250	250	
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	左の10科目から 1科目選択 ※1			社会科教育 コース			計	150	*100	*100		150	100	150			250	900	
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経							センター	150	*150	*150		100	50	150				600	
					個別												300	300		
					計			150	*150	*150		100	50	150				300	900	
数	数Ⅰ・数A		左の科目		数学教育 コース			センター	120	*70	*70		170	120	120				600	
	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報		左の4科目から 1科目選択					個別									300	300		
								計	120	*70	*70		170	120	120			300	900	
	理	①	物基, 化基, 生基, 地学基	左の4科目から 2科目選択	① 又は ②			理科教育 コース	センター	50	*50	*50		200	200	100				600
				個別													300	300		
		計	50	*50	*50				200	200	100				300	900				
②		物, 化, 生, 地学	左の4科目から 2科目選択	ものづくり ・技術教 育コース	センター			120	*80	*80		160	120	120				600		
			個別												300	300				
	計	120	*80	*80				160	120	120				300	900					
外	英	左の科目			家庭科教育 コース			センター	150	*75	*75		150	75	150				600	
								個別									300	300		
	〔5教科7科目〕				心理支援 教育コース			計	150	*75	*75		150	75	150			300	900	
国	国	左の科目			国語教育 コース			センター	300	*100	*100				200				600	
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	左の10科目から 1科目選択 ※1						個別									300	300		
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経							計	300	*100	*100				200			300	900	
外	英	左の科目			英語教育 コース			センター	200	*100	*100				300				600	
								個別									300	300		
〔3教科3科目〕								計	200	*100	*100				300			300	900	
国	国	左の科目			図画工作 ・美術教 育コース			センター	200	*100	*100		*100	*100	200				600	
地歴	①	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	左の10科目か ら1科目選択 ※1	①, ②, ③, ④ から 2つ選 択 ※2 ※3				個別											300	300
公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経							計	200	*100	*100				*100	*100	200		
数	②	数Ⅰ・数A	左の科目			センター														
		数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の4科目から 1科目選択			個別														
				計																
理	③	物基, 化基, 生基, 地学基	左の4科目から 2科目選択	④		外	英	左の科目												
	④	物, 化, 生, 地学	左の4科目から 2科目選択																	
	〔4教科5科目〕又は〔4教科6科目〕																			
国	国	左の科目			野外教育 コース	その他	実技検査	(運動)	センター	200	*200	*200	*200	*200	200			600		
地歴	①	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	左の10科目か ら1科目選択 ※1	① 又は ② 又は ③ 又は ④ ※2 ※4					保健体育 コース	個別									300	300
公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経								計	200	*200	*200	*200	*200	200	300			900
数	②	数Ⅰ・数A	左の科目							音楽教育 コース	センター	200	*200	*200	*200	*200	200	300		
		数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の4科目から 1科目選択		個別															
				計																
理	③	物基, 化基, 生基, 地学基	左の4科目から 2科目選択	④	外				英	左の科目										
	④	物, 化, 生, 地学	左の4科目から 2科目選択																	
	〔3教科3科目〕又は〔3教科4科目〕																			

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目を受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

※2 「数学」を選択する場合は、2科目受験してください。

※3 3教科受験した方については、得点の高い2教科の成績を利用します。

※4 2教科以上受験した方については、もっとも得点の高い教科の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

個別学力検査等の得点が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

※5 面接はコースごとに実施し、個別又は集団で行います。数学教育コース、理科教育コース及びものづくり・技術教育コースは、教科に関する質問を含みます。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に *印を付してある教科は選択教科を表します。

【合否判定基準】

配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

3 実技検査の内容

音楽教育コース

(1) 受験方法

① 次の「(2) 検査内容」に示された①、②の検査すべてを受験してください。

② すべての受験曲は暗譜で演奏してください。声楽曲は原語で、オペラ・アリアは原調（ただし、習慣的に移調が認められている場合は除く。）で歌ってください。器楽曲は反復を省略してください。

(2) 検査内容

① 声 楽：イタリア歌曲、ドイツ歌曲、日本歌曲、オペラ・アリアの中から任意の1曲

② ピアノ：バロック、古典派、ロマン派のピアノ作品の中から速度の速い任意の1曲（組曲形式の楽曲については抜粋も可とします。）

(3) 実技検査（音楽）受験曲目届（出願書類と共に提出）

この募集要項に添付する届出様式4を用いてください。（黒色のペン又はボールペンを使用）

(4) 声楽の伴奏用楽譜の提出

志願者が用意し、左上に氏名を明記の上、各ページともA4判（21.0cm×29.7cm）で簡易製本（屏風形）し、出願書類と共に提出してください。提出後の楽譜の差し替えはできません。なお、提出された楽譜は返却しません。

野外教育コース、保健体育コース

(1) 検査内容

次の①、②の実技検査を受験してください。

① 運動能力検査（内容は当日指示）

② 次の8種目から1種目を選択

1. 器械運動 2. 陸上競技 3. バスケットボール 4. サッカー 5. バレーボール

6. ソフトボール 7. 剣道 8. キャンピング・スキル

(2) 実技検査（運動）受験種目届（出願書類と共に提出）

① この募集要項に添付する届出様式5を用いてください。（黒色のペン又はボールペンを使用）

② 前記「(1) 検査内容②」で選択した1種目を記入してください。なお、選択した種目は、変更できません。また、受験種目の内容についての問い合わせには一切応じられません。

(3) その他

① 実技検査に使用する運動用具に関する注意事項

a. すべての受験者は、トレーニングウェア及び室内用と室外用の両方のシューズを持参してください。

b. 選択した種目を受験するのに必要な運動の服装、用具、シューズ等を持参してください。

・陸上競技の受験者は、スパイクシューズを持参してください。ただし、ピンはオールウェザー用で、ピンの長さは9mm以下としてください。

・ソフトボールの受験者は、グローブを持参してください。

・剣道の受験者は、剣道着、防具、竹刀を持参してください。

② 陸上競技は、短距離走・中距離走・砲丸投のなかからいずれかを試験当日選択してください。

③ 事前に健康診断を受けるなど健康管理に留意してください。また、万一の事故に備え、保険証を持参してください。

4 採点・評価基準

大学入試センター試験の成績，個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合して行います。

5 個別学力検査等の日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	試験時間	教科・科目等
3月12日（月）	9:00～17:30頃	実技検査（運動）※1，※2
	10:00～17:30頃	実技検査（音楽）※1，※2
	13:00～17:30頃	面接 ※1

※1 実施方法等は当日指示します。

※2 詳細は「3 実技検査の内容」を参照してください。

(2) 検査場

信州大学長野（教育）キャンパス 長野市西長野6のロ

（60ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。）

（注）受験の際は，「信州大学の受験票」及び「平成30年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

6 その他

出願については5～9ページ，合格者の発表については10ページ，入学手続については10～11ページ，追加合格については11ページを参照してください。

3 経法学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/econlaw/>)

〈入学者受入れの方針〉

経法学部は、経済学または法学を体系的に修得した上で、身につけた専門性を現代社会のさまざまな課題の現場で発揮し、課題解決のために能動的に貢献できる人材の育成を目標にしています。そのために高等学校等を卒業するまでに学習するすべての教科と科目についての基礎知識を習得しておくことが必要です。

本学部で学ぶために、高等学校等の各教科については以下のことを十分に身につけておいてください。

1. 高等学校等における学習内容の幅広い理解
2. 社会科学諸分野の基礎となる高等学校等での国語、地理、歴史、公民、英語等の学習内容の深い理解
3. 問題解決に際して、冷静で論理立った考察や、事実の観察、データの分析に基づいて思考できる資質
4. 人口減少、高齢化の進展など、地域が直面する具体的な課題について問題意識を抱き、その解決に取り組む強い意欲
5. 現在社会が直面する様々な不確実性、リスク、価値観や意見の違い、紛争、多様性などにひるまず、これらに積極的に立ち向かうチャレンジ精神
6. 幅広い視野を持ち、様々な学問領域で生み出された成果や研究方法を総合的に取り入れながら真理を探究する姿勢

本学部では、上記の素養を持つ学生を選抜するために以下の入学試験を実施します。

【一般入試（前期日程及び後期日程）】

一般入試では、1 に対しては大学入試センター試験で国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語を課すとともに、個別学力検査では2と3を重視して、主として専攻する分野に関連する教科を中心に思考力・論述力を重視した個別学力試験を課します。

【推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない入試）】（略）、【私費外国人留学生入試】（略）、【第2年次編入学入試】（略）

《十分な学習が望まれる教科・科目など》

国語	資料を読み解き、考えを表現するとともに他者との円滑なコミュニケーションを図るために、一定の読書量を通して国語の能力を十分身につけておくことが必要です。
地理歴史 公民	社会科学分野の基礎となる科目であり、十分に学ぶとともに、教科書での学びに限定することなく、新聞・ニュース報道等に積極的に接し、経法学部が対象としている社会の諸問題に関心を持つとともに、これらを探究するために必要な基礎学力を身につけてください。
数学	論理的思考の基礎ともなる科目ですので、基本的な内容とその応用力を身につけてください。特に、応用経済学科では経済現象の数理解析のために必要です。
理科	経法学部が対象としている社会の諸問題を探究するための基礎科目として学んでおいてください。
英語	国語と同様な意味で、国内にとどまらない活動のために、英語の能力も必要です。

<前期日程>

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
応用経済学科	60人
総合法律学科	60人
計	120人

2 志望学科の選択

本学部「前期日程」では、第1志望ではない学科を第2志望とすることができます。

3 実施教科・科目等、配点及び合否判定基準

平成30年度大学入試センター試験において、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

大学入試センター試験の受験科目を下表の確認欄を用いて志願者自身がチェックし、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで出願するようにしてください。

※教科・科目等の略表記については、15ページを参照してください。

大学入試センター試験の利用教科・科目名				学科等名	個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
教科	科目名等	受験を要する科目等	確認欄		教科等	科目名等		区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計
国	国	左の科目		応用経済学科 総合法律学科	国	国語総合 ※4		センター	200	*100 *200	*100	200	100	200	900
地歴	世B, 日B, 地理B	左の7科目から 2科目選択			数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・ 数B ※5	左の 3教科 から 1教科 選択	個別 ※6	*200			*200		*200	200
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 ※1				外	コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・ 英語表現Ⅱ		計	200 *400	*100 *200	*100	200 *400	100	200 *400	1100
数	数Ⅰ・数A	左の科目													
	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の4科目から 1科目選択													
理	① 物基, 化基, 生基, 地学基	左の4科目から 2科目選択 ※3	① 又は ②												
	② 物, 化, 生, 地学 ※2	左の4科目から 1科目選択 ※3													
外	英, 独, 仏, 中, 韓	左の5科目から 1科目選択													
[5教科7科目]又は[5教科8科目]又は [6教科7科目]又は[6教科8科目]															

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

※1 「公民」から2科目を受験することはできません。

※2 理科の「物, 化, 生, 地学」から2科目を受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

※3 理科の「物基, 化基, 生基, 地学基」及び「物, 化, 生, 地学」から3科目を受験した方については、『「物基, 化基, 生基, 地学基」2科目合計の得点』又は『「物, 化, 生, 地学」の得点』のうち、いずれか得点の高い成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

※4 国語総合は、近代以降の文章から出題します。

※5 数学Bは「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に *印を付してある教科は選択教科を表します。

※6 選択教科による不公平が生じないように、得点調整を行う場合があります。

【合否判定基準】

配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

合否は、両学科をあわせて配点に従い総合点の上位から判定します。学科の割り当ては、応用経済学科60名、総合法律学科60名として、合格した方の上位から第1志望の学科を割り当てていき、一方の学科の合格枠を超えた場合にあって、当該学科を第1志望とする方については第2志望の学科がある場合には第2志望の学科を割り当てます。ただし、第2志望の学科がない場合には不合格とします。

第2志望学科の記入の有無により、第1志望学科の合否に関して有利不利はありません。

4 採点・評価基準

合格者の選抜は、応用経済学科、総合法律学科ともに、指定された科目の大学入試センター試験と個別学力検査等の成績及び調査書の内容等を総合して行います。

5 個別学力検査等の日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	学 科	教科及び時間
2月25日(日)	全学科	数 学 13:00～15:00
		国 語 16:00～17:30
		外国語 16:00～17:30

(2) 検査場

- ① 「入学志願票（前期日程用）」の検査場欄の希望する検査場の所定欄に○印を記入してください（出願書類受理後の希望検査場の変更は、認めません。）。
- ② 検査場は、出願書類の受付順に下記のとおり決定します。
 松本検査場希望者：全希望者、松本検査場に決定します。
 東京検査場希望者：検査場の最大収容者数に達するまでは、東京検査場に決定します。
 例年、全希望者、東京検査場に決定していますが、万一、検査場の最大収容者数に達した場合、以降の希望者は松本検査場に決定します。
- ③ 決定した検査場は受験票に明示し、その詳細については、受験票に同封して通知します。
 なお、決定した検査場以外では、いかなる理由があっても受験できません。

※ 東京検査場に関する問い合わせは、二松學舎大学へは一切行わないでください（信州大学経法学部入試事務室（Tel.0263-37-3312）にお問い合わせください。）。

〈松本検査場〉 信州大学松本キャンパス 松本市旭3-1-1
 〈東京検査場〉 二松學舎大学九段キャンパス九段1号館 東京都千代田区三番町6-16
 （60ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。）

（注） 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成30年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

6 その他

- (1) 出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11ページを参照してください。
- (2) 本学部では、教育職員免許状を取得することはできません。
- (3) 本学部におけるアクティブラーニング手法を導入した授業では、タッチパネル操作を前提とします。
 学生全員にタッチパネル操作可能なノートパソコンの所持を義務づけていますので、入学される方には、入学時に本学部が指定する性能を満たすタッチパネル操作可能なノートパソコンを準備していただきます。タッチパネル操作可能なノートパソコンの仕様等については、合格通知書の送付の際にご案内します。

なお、既にタッチパネル操作可能なノートパソコンをお持ちの方については、必要な仕様の整備を各自で行っていただきます。

<後期日程>

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
応用経済学科	20人
計	20人

2 実施教科・科目等、配点及び可否判定基準

平成30年度大学入試センター試験において、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

大学入試センター試験の受験科目を下表の確認欄を用いて志願者自身がチェックし、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで出願するようにしてください。

※教科・科目等の略表記については、15ページを参照してください。

大学入試センター試験の利用教科・科目名				学科等名	個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
教科	科目名等	受験を要する科目等	確認欄		教科等	科目名等	区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点 合計	
国	国	左の科目		応用経済 学科	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B ※4	センター	200	*100	*100	200	100	200	800	
地歴	世B, 日B, 地理B	左の7科目から 1科目選択 ※1					個別	200							200
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経														
数	数Ⅰ・数A	左の科目					計	200	*100	*100	400	100	200	1000	
	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の4科目から 1科目選択													
理	① 物基, 化基, 生基, 地学基	左の4科目から 2科目選択 ※3	① 又は ②												
	② 物, 化, 生, 地学 ※2	左の4科目から 1科目選択 ※3													
外	英, 独, 仏, 中, 韓	左の5科目から 1科目選択													
〔5教科6科目〕又は〔5教科7科目〕															

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目を受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

※2 理科の「物, 化, 生, 地学」から2科目を受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

※3 理科の「物基, 化基, 生基, 地学基」及び「物, 化, 生, 地学」から3科目を受験した方については、『「物基, 化基, 生基, 地学基」2科目合計の得点』又は『「物, 化, 生, 地学」の得点』のうち、いずれか得点の高い成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

※4 数学Bは「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に *印を付してある教科は選択教科を表します。

【可否判定基準】

配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

3 採点・評価基準

合格者の選抜は、指定された科目の大学入試センター試験と個別学力検査等の成績及び調査書の内容等を総合して行います。

4 個別学力検査等の日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	学 科	教科及び時間
3月12日(月)	応用経済学科	数 学 9:00～10:30

(2) 検査場

信州大学松本キャンパス 松本市旭3-1-1

(60ページからの「Ⅳ 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成30年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

5 その他

(1) 出願については5～9ページ，合格者の発表については10ページ，入学手続については10～11ページ，追加合格については11ページを参照してください。

(2) 本学部では，教育職員免許状を取得することはできません。

(3) 本学部におけるアクティブラーニング手法を導入した授業では，タッチパネル操作を前提とします。学生全員にタッチパネル操作可能なノートパソコンの所持を義務づけていますので，入学される方には，入学時に本学部が指定する性能を満たすタッチパネル操作可能なノートパソコンを準備していただきます。タッチパネル操作可能なノートパソコンの仕様等については，合格通知書の送付の際にご案内します。

なお，既にタッチパネル操作可能なノートパソコンをお持ちの方については，必要な仕様の整備を各自で行っていただきます。

4 理 学 部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/science/>)

〈入学者受入れの方針〉

信州大学理学部は、学部の基本理念・教育目標に基づき、次のような学生を求めています。

1. 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語で学習したことを身につけている
2. 自然界の多種多様な現象に対する旺盛な知的好奇心や探究心、そして思考力を持っている
3. 自然を愛し、自然との共生を実践するために必要な判断力を持っている
4. 自らの目標を定め、積極的に学ぼうと努力する
5. 専門分野を越えた広くかつ長期的な視野で、人類社会に貢献したいと考える

本学部では、上記の素養を持つ学生を選抜するために以下の入学試験を実施します。

なお、理学部には、数学科と理学科があり学科ごとに募集が行われますが、理学科の入学者選抜は、物理学コース、化学コース、地球学コース、生物学コース及び物質循環学コースごとに実施します。

【一般入試（前期日程）】

前期日程では、1 に対しては大学入試センター試験で国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語を課すとともに、個別学力検査では2と3を重視して、数学科と物理学コース及び化学コースでは、主専攻分野に関連する教科の思考力・判断力・論述力を重視した個別学力試験を課し、地球学コースと生物学コースでは「口頭試問を含む面接」を課し、物質循環学コースでは「小論文」を課します。

【一般入試（後期日程）】

後期日程では、1 に対しては大学入試センター試験で国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語を課すとともに、個別学力検査では2と3に対しては数学と理科の筆記試験を課して、理系分野の表現力・思考力・判断力を評価します。

【AO 入試Ⅱ（センター試験を課す入試）】（略）、【帰国子女入試】（略）、【私費外国人留学生入試】（略）、【第3年次編入学入試】（略）

《理学部入学前に十分な学習が望まれる教科・科目等》

数 学 科		数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B
理 学 科	物理学コース	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，物理
	化学コース	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，物理，化学
	地球学コース	物理，化学，生物，地学から2科目以上
	生物学コース	生物
	物質循環学コース	物理，化学，生物，地学から2科目以上

〈前 期 日 程〉

1 募集人員

学科・コース		募 集 人 員
数 学 科		24人
理 学 科	物 理 学 コ ー ス	20人
	化 学 コ ー ス	20人
	地 球 学 コ ー ス	10人
	生 物 学 コ ー ス	15人
	物質循環学コース	13人
	小 計	78人
計		102人

2 実施教科・科目等、配点及び可否判定基準

平成30年度大学入試センター試験において、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

大学入試センター試験の受験科目を下表の確認欄を用いて志願者自身がチェックし、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで出願するようにしてください。

※教科・科目等の略表記については、15ページを参照してください。

大学入試センター試験の利用教科・科目名				学科等名	個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											
教科	科目名等	受験を要する科目等	確認欄		教科等	科目名等	区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	小論文	配点合計		
国	国	左の科目		数 学 科	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B ※3	センター	200	*100	*100	200	200	200			900		
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	左の10科目から 1科目選択 ※1					個別			600							600	
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経						計	200	*100	*100	800	200	200			1500		
数	数Ⅰ・数A	左の科目																
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の3科目から 1科目選択																
理	物, 化, 生, 地学	左の4科目から 2科目選択																
外	英, 独, 仏, 中, 韓	左の5科目から 1科目選択																
〔5教科7科目〕																		
国	国	左の科目		理 学 科	理	物基・物	センター	200	*100	*100	200	200	200			900		
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	左の10科目から 1科目選択 ※1					個別			400						400		
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経						計	200	*100	*100	200	600	200			1300		
数	数Ⅰ・数A	左の科目																
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の3科目から 1科目選択																
理	物	左の科目																
	化, 生, 地学	左の3科目から 1科目選択																
外	英, 独, 仏, 中, 韓	左の5科目から 1科目選択																
〔5教科7科目〕																		
国	国	左の科目		理 学 科	理	化基・化	センター	200	*100	*100	200	200	200			900		
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	左の10科目から 1科目選択 ※1					個別			400						400		
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経						計	200	*100	*100	200	600	200			1300		
数	数Ⅰ・数A	左の科目																
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の3科目から 1科目選択																
理	化	左の科目																
	物, 生, 地学	左の3科目から 1科目選択																
外	英, 独, 仏, 中, 韓	左の5科目から 1科目選択																
〔5教科7科目〕																		

大学入試センター試験の利用教科・科目名					学科等名	個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											
教科	科目名等		受験を要する科目等	確認欄		教科等	科目名等	区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	小論文	配点合計		
国	国		左の科目		地球学コース	その他	面接(物基・物、化基・化、生基・生又は地学基・地学から1科目を選択し、選択した科目の範囲を含む口頭試験)												
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B		左の10科目から1科目選択 ※1					個別		200	*100	*100	200	200	200		300		900
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																		
数	数Ⅰ・数A		左の科目																
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報		左の3科目から1科目選択																
理	① ※2	物基, 化基, 生基, 地学基	左の4科目から2科目選択					①又は②											
		物, 化, 生, 地学	左の4科目から1科目選択																
	②	物, 化, 生, 地学	左の4科目から2科目選択																
外	英, 独, 仏, 中, 韓		左の5科目から1科目選択																
〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕																			
国	国		左の科目		理学科	その他	面接(生基・生の範囲を含む口頭試験)												
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B		左の10科目から1科目選択 ※1					センター	10	*10	*10	80	200	100				400	
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																		
数	数Ⅰ・数A		左の科目																個別
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報		左の3科目から1科目選択																
理	生		左の科目					計	10	*10	*10	80	200	100	200			600	
	物, 化, 地学		左の3科目から1科目選択																
外	英, 独, 仏, 中, 韓		左の5科目から1科目選択																
〔5教科7科目〕																			
国	国		左の科目					物質循環学コース	その他	小論文									
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B		左の10科目から1科目選択 ※1		センター	200	*100				*100	200	200	200				900	
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																		
数	数Ⅰ・数A		左の科目																個別
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報		左の3科目から1科目選択																
理	物, 化, 生, 地学		左の4科目から2科目選択		計	200	*100				*100	200	200	200			900	1800	
外	英, 独, 仏, 中, 韓		左の5科目から1科目選択																
〔5教科7科目〕																			

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高専課程の修了（見込み）者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

※2 「理科」の①パターンにおいては、同一名称を含む科目同士の選択は認めません。

【個別学力検査等】欄

※3 数学Bは「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

※4 理学科生物学コースの面接は、段階評価を行い得点に換算します。

【合否判定基準】

配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

3 採点・評価基準

大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合して行います。

4 個別学力検査等の日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	学科・コース	教科及び時間
2月25日(日)	数 学 科	数 学 13:00～16:00
	理 学 科	理 科 9:00～10:30
	理 学 科	理 科 9:00～10:30
	理 学 科	面 接 9:00～
	理 学 科	面 接 9:00～
	理 学 科	小論文 9:00～11:00

(2) 検査場

信州大学松本キャンパス 松本市旭3-1-1

(60ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成30年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

5 注意事項

出願手続後の受験科目の変更は認めません。

6 その他

出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11ページを参照してください。

〈後 期 日 程〉

1 募集人員

学科・コース		募 集 人 員
数 学 科		30人
理 学 科	物 理 学 コ ー ス	14人
	化 学 コ ー ス	14人
	地 球 学 コ ー ス	15人
	生 物 学 コ ー ス	14人
	物質循環学コース	12人
	小 計	69人
計		99人

2 実施教科・科目等、配点及び合否判定基準

平成30年度大学入試センター試験において、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

大学入試センター試験の受験科目を下表の確認欄を用いて志願者自身がチェックし、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで出願するようにしてください。

※教科・科目等の略表記については、15ページを参照してください。

大学入試センター試験の利用教科・科目名				学科等名	個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等																										
教科	科目名等		受験を要する科目等		確認欄	教科等	科目名等	区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計																		
国	国	左の科目			数 学 科	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B ※3	センター	200	*100	*100	200	200	200	900																		
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	左の10科目から1科目選択 ※1		個別							500	250		750																			
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経			計		200	*100	*100	700	450	200	1650																					
数	数Ⅰ・数A	左の科目		理		物基・物	左の4科目から1科目選択 ※4	センター	200	*100	*100	200	200	200	900																		
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の3科目から1科目選択																															
理	物, 化, 生, 地学	左の4科目から2科目選択														生基・生	個別					300	200	500									
外	英, 独, 仏, 中, 韓	左の5科目から1科目選択																							地学基・地学	計	200	*100	*100	500	400	200	1400
〔5教科7科目〕																																	
国	国	左の科目		理 学 科		物理 学 コー ス	生基・生	個別																									
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	左の10科目から1科目選択 ※1														地学基・地学	計	200	*100	*100	500	400	200	1400									
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																																
数	数Ⅰ・数A	左の科目			センター																				200	*100	*100	200	200	200	900		
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の3科目から1科目選択																														個別	
理	物	左の科目			計	200	*100	*100	500	400	200	1400																					
外	英, 独, 仏, 中, 韓	左の5科目から1科目選択											センター	200	*100	*100	200	200	200	900													
〔5教科7科目〕						個別																											
国	国	左の科目											理 学 科	化学 コー ス	地学基・地学	計	200	*100	*100	500	400	200	1400										
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	左の10科目から1科目選択 ※1			センター	200	*100	*100	200	200	200	900																					
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経			個別																							350	350	700				
数	数Ⅰ・数A	左の科目																												計	200	*100	*100
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の3科目から1科目選択																															
理	化	左の科目		センター	200	*100	*100	200	200	200	900																						
外	英, 独, 仏, 中, 韓	左の5科目から1科目選択										個別																					
〔5教科7科目〕					計	200	*100	*100	550	550	200										1600												

大学入試センター試験の利用教科・科目名				学科等名	個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等															
教科	科目名等		受験を要する科目等		確認欄	教科等	科目名等	区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計							
国	国		左の科目		地球学コース	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B ※3	センター	200	*100	*100	200	200	200	900							
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B		左の10科目から1科目選択 ※1					物基・物	個別					300	500		800					
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																					
数	数Ⅰ・数A		左の科目			化基・化	計											200	*100	*100	500	700
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報		左の3科目から1科目選択																			
理	① ※ 2	物基, 化基, 生基, 地学基	左の4科目から2科目選択	① 又は ②				生基・生	センター	200	*100	*100	200	200	200	900						
		物, 化, 生, 地学	左の4科目から1科目選択																			
外	②	物, 化, 生, 地学	左の4科目から2科目選択			地学基・地学	個別													450	450	
英, 独, 仏, 中, 韓		左の5科目から1科目選択		物質循環学コース				計	200	*100	*100	650	650	200	1800							
[5教科7科目] 又は [5教科8科目]																						
国	国		左の科目		生物学コース	センター	200									*100	*100	200	200	200	900	
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B		左の10科目から1科目選択 ※1					個別				200	600		800							
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																					
数	数Ⅰ・数A		左の科目		地学基・地学	計	200									*100	*100	400	800	200	1700	
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報		左の3科目から1科目選択																			
理	物, 化, 生, 地学		左の4科目から2科目選択					物質循環学コース	センター	200	*100	*100	200	200	200							900
外	英, 独, 仏, 中, 韓		左の5科目から1科目選択		個別												450	450		900		
[5教科7科目]																						

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

※2 「理科」の①パターンにおいては、同一名称を含む科目同士の選択は認めません。

【個別学力検査等】欄

※3 数学Bは「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

※4 選択科目による不公平が生じないように、得点調整を行う場合があります。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

【合否判定基準】

配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

3 採点・評価基準

大学入試センター試験の成績，個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合して行います。

4 個別学力検査等の日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	学科・コース	教科及び時間
3月12日（月）	全学科・コース	数学 9：00～11：30
		理科 13：00～14：30

(2) 検査場

信州大学松本キャンパス 松本市旭3-1-1

（60ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。）

（注）受験の際は，「信州大学の受験票」及び「平成30年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

5 注意事項

出願手続後の受験科目の変更は認めません。

6 その他

出願については5～9ページ，合格者の発表については10ページ，入学手続については10～11ページ，追加合格については11ページを参照してください。

5 医学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/>)

〈入学者受入れの方針〉

1 医学科

本学科では次のような学生を求めています。

1. 医師となる明確な目的意識を持っている
2. 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語で学習したことを身につけ、医学を学んでゆくにあたって必要な基礎学力がある
3. 医師となるのにふさわしい協調性、決断力、積極性を持っている
4. 病める人を救う情熱、思いやりと奉仕の心、倫理観を持っている
5. 将来の人類のために創造的な医学研究を志向するに必要な思考力・判断力の素養と探究心を持っている

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、以下の入学試験を実施します。

【一般入試（前期日程）】

前期日程では、2 に対しては大学入試センター試験で国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語を課すとともに、個別学力検査では2と5を重視して、数学、理科及び英語の教科による思考力・判断力・論述力を重視した個別学力試験を課し、1と3～5に対しては面接を課します。

【推薦入試Ⅱ（センター試験を課す入試）】（略）、【私費外国人留学生入試】（略）

《大学入学までに履修すべき教科・科目など》

入学後の学びを円滑に進めるためには、高等学校等では以下の教科・科目の学力を十分に身につけていることが望まれます。また、高等学校等での特別活動や課外活動を通じて、自主的、協動的な態度や、思いやりと奉仕の心を育むことも強く望みます。

国語	十分な読解力、思考力、表現力、会話能力
地理歴史 公民	刻々と変化していく社会情勢に対応していくための基礎知識と社会的素養
数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bについての十分な知識・技能と数学的思考
理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から3科目以上、及び物理、化学、生物、地学から2科目以上についての知識と科学的な思考力
英語	十分な読解力、表現力、会話能力

2 保健学科

保健学科は、専門性の異なる看護学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻で構成され、豊かな人間性、広い学問的視野と課題探究能力を身につけた高度な保健・医療の専門職者や保健学研究者を育成することで、保健学の教育・研究と保健・医療活動を発展させ、地域貢献を果たすことを目標にしています。このため、保健学科では、卒業時における学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に到達可能な入学者を受け入れることを目的として、次のような学生を求めています。

1. 社会に対し積極的に関わり、“人”に深い関心と思いやりの心を持ち、保健・医療分野の専門職としての役割を果たそうとする明確な目的意識と高い倫理観を持っている
2. 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語で学習したことを身につけ、保健学科で専門分野を学んでゆくにあたって必要な基礎学力と論理的思考力がある
3. 絶え間なく進歩する科学を保健・医療に適用していくための判断力・思考力・表現力の素養と国際的視野を持っている

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

【一般入試（前期日程）】

前期日程では、2と3に対して、大学入試センター試験で国語、地理歴史・公民、数学、理科、

英語を課すとともに、個別学力検査では数学と英語を課します。

【一般入試（後期日程）】

後期日程では、2と3に対しては大学入試センター試験で国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語を課すとともに、個別学力検査では1～3に対応して「面接」を課します。

【推薦入試Ⅰ（センター試験を課さない入試）】（略）、【推薦入試Ⅱ（センター試験を課す入試）】（略）、【私費外国人留学生入試】（略）、【社会人入試】（略）、【第3年次編入学入試】（略）

《保健学科に入学するまでに学んでほしいこと》

保健・医療領域における専門職者の役割は、拡大し、多様化してきました。保健・医療専門職者には、人間の命の尊さを真摯に理解し、人を思いやる心を持ち、幅広い基礎知識と応用力、たゆみない探究心により、社会に対しても積極的に関わり役割を果たそうとする意欲を持つことが求められます。このため、保健学科に入学するまでに高等学校等において次のような学力を身につけていることが望まれます。また、高等学校等での特別活動や課外活動を通じて、自主的、協調的な態度や思いやりの心と社会的倫理観を養っておくことが強く望まれます。

国 語	基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション能力・論理的思考力
地 理 歴 史 公 民	刻々と変化していく社会情勢に対応していくための基礎知識と応用力
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bの知識と論理的思考方法
理 科	物理、化学、生物の基礎的な知識と科学的に探究する姿勢
英 語	基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション能力・論理的思考力

〈前 期 日 程〉

1 募集人員

学科・専攻		募 集 人 員
医 学 科		100人
保健学科	看 護 学 専 攻	50人
	検 査 技 術 科 学 専 攻	23人
	理 学 療 法 学 専 攻	16人
	作 業 療 法 学 専 攻	14人
	小 計	103人
計		203人

2 医学科の2段階選抜について

- (1) 綿密な選抜を実施するため、志願者数が募集人員の5倍を超えた場合には、大学入試センター試験の成績、調査書の内容及び志願調書の内容を総合して第1段階選抜を行い、その合格者について、個別学力検査及び面接を実施します。

- (2) 第1段階選抜の結果については、平成30年2月7日（水）に次の方法によりお知らせします。

- ① 第1段階選抜を実施しなかった場合は、志願者全員に受験票を郵送します。
- ② 第1段階選抜を実施した場合は、15時に本学部構内掲示板に選抜の結果を掲示するとともに、合格者には受験票を、不合格者には不合格通知を郵送します。

また、信州大学ホームページ（入試情報ポータル）及び信州大学携帯電話サイトにも合格者の受験番号を速報掲載しますが、必ず公式発表で確認してください。

なお、電話やメール等による可否の問い合わせには、応じられません。

第1段階選抜の結果、不合格となった志願者に対しては、検定料17,000円のうち13,000円をお返しします。また、返還手続については、不合格通知に同封しお知らせします。

※ 保健学科については、2段階選抜を行いません。

3 実施教科・科目等、配点及び合否判定基準

平成30年度大学入試センター試験において、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

大学入試センター試験の受験科目を下表の確認欄を用いて志願者自身がチェックし、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで出願するようにしてください。

※教科・科目等の略表記については、15ページを参照してください。

大学入試センター試験の利用教科・科目名				学科等名	個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										
教科	科目名等		受験を要する科目等		確認欄	教科等	科目名等	区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	配点 合計	
国	国		左の科目		医学科	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B ※2	センター	100	*50	*50	100	100	100		450	
地歴	世B, 日B, 地理B		左の7科目から 1科目選択 ※1			外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニ ケーション英語Ⅱ・コミュニケーション 英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英 語表現Ⅱ										
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																
数	数Ⅰ・数A		左の科目			理	物基・物	左の3科目 から2科目選 択 ※3					150	150	150	150 ※6	600
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報		左の3科目から 1科目選択	化基・化													
理	物, 化, 生, 地学		左の4科目から 2科目選択				生基・生										
外	英		左の科目			その他	面接 ※4		計	100	*50	*50	250	250	250	150 ※6	1050
〔5教科7科目〕				(志願者数が募集人員の5倍を 超えた場合は,2段階選抜を行 います。 ※5)													
国	国		左の科目		保健 学 科	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B ※2	センター	100	*50	*50	100	100	100		450	
地歴	世B, 日B, 地理B		左の7科目から 1科目選択 ※1					外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニ ケーション英語Ⅱ・コミュニ ケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英 語表現Ⅱ	個別				200	200		400
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																
数	数Ⅰ・数A		左の科目														
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報		左の3科目から 1科目選択														
理	物, 化, 生		左の3科目から 2科目選択														
外	英		左の科目					計	100	*50	*50	300	100	300		850	
〔5教科7科目〕																	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

- ※2 数学Bは「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。
- ※3 選択科目による不公平が生じないように、得点調整を行う場合があります。
- ※4 面接は、数名を1グループとして実施します。場合によってはさらに個別面接を行うことがあります。
- ※5 志願者数が募集人員の5倍を超えた場合には、大学入試センター試験の成績、調査書の内容及び志願調査の内容を総合して第1段階選抜を行い、その合格者について、個別学力検査及び面接を実施します。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

※6 面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

【合否判定基準】

医学科では、綿密な選抜を実施するため、志願者数が募集人員の5倍を超えた場合には、大学入試センター試験の成績、調査書の内容及び志願調査の内容を総合して第1段階選抜を行います。その合格者について個別学力検査及び面接を実施し、大学入試センター試験の成績、個別学力検査の成績、面接、調査書及び志願調査の内容を総合して判定します。

保健学科では、大学入試センター試験の成績、個別学力検査の成績及び調査書の内容を総合して判定します。

医 学 部
前期・後期

4 採点・評価基準

〈医学科〉

大学入試センター試験の成績並びに個別学力検査の成績，面接，調査書及び志願調書の内容を総合して行います。なお，勉学意欲と医学への動機付けがあり，医学科が求めている人物である者を総合的に評価して選抜します。

〈保健学科〉

大学入試センター試験の成績，個別学力検査の成績及び調査書の内容を総合して行います。

5 個別学力検査等の日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	コース	教科及び時間
2月25日（日）	医 学 科	理 科 9：00～11：30
		数 学 13：00～15：00
		外国語 16：00～17：30
	保 健 学 科	数 学 13：00～15：00
		外国語 16：00～17：30
2月26日（月）	医 学 科	面 接 9：00～

(2) 検査場

信州大学松本キャンパス 松本市旭3-1-1

（60ページからの「Ⅳ 各学部検査場案内」を参照してください。）

（注）受験の際は，「信州大学の受験票」及び「平成30年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

6 その他

出願については5～9ページ，合格者の発表については10ページ，入学手続については10～11ページ，追加合格については11ページを参照してください。

〈後 期 日 程〉

1 募集人員

学 科・専 攻		募 集 人 員
保 健 学 科	看 護 学 専 攻	10人
	検 査 技 術 科 学 専 攻	9人
	作 業 療 法 学 専 攻	2人
計		21人

2 実施教科・科目等、配点及び合否判定基準

平成30年度大学入試センター試験において、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

大学入試センター試験の受験科目を下表の確認欄を用いて志願者自身がチェックし、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで出願するようにしてください。

※教科・科目等の略表記については、15ページを参照してください。

大学入試センター試験の利用教科・科目名				学科等名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
教科	科目名等	受験を要する科目等	確認欄			教科等	科目名等	区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	配点 合計	
国	国	左の科目		保 健 学 科	看護学 専攻	その他	面接	センター	100	*50	*50	100	100	100		450	
地歴	世B, 日B, 地理B	左の7科目から 1科目選択 ※1						個別								200	200
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経							計	100	*50	*50	100	100	100	200	650	
数	数Ⅰ・数A	左の科目			センター			100	*50	*50	200	200	100		650		
	数Ⅱ・数B, 簿, 情 報	左の3科目から 1科目選択			個別									200	200		
理	物, 化, 生	左の3科目から 2科目選択		作業療 法学専 攻	計			100	*50	*50	200	200	100	200	850		
外	英	左の科目			センター			100	*50	*50	100	100	100		450		
〔5教科7科目〕					個別									200	200		
				計	100			*50	*50	100	100	100	200	650			

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算して利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記(200点満点)の得点をそのまま利用します。

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に *印を付してある教科は選択教科を表します。

【合否判定基準】

大学入試センター試験の成績、面接及び調査書の内容を総合して判定します。

3 採点・評価基準

〈保健学科〉

大学入試センター試験の成績、面接及び調査書の内容を総合して行います。

4 個別学力検査等の実施日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	学 科	教科及び時間
3 月 1 2 日 (月)	保健学科	面接 9:00～

(2) 検査場

信州大学松本キャンパス 松本市旭3-1-1

(60ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成30年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

5 その他

出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11ページを参照してください。

6 工 学 部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/>)

〈入学者受入れの方針〉

信州大学工学部は、豊かな教養と工学の幅広い専門知識を持ち、科学技術と環境保全との調和に深く関心を持って、社会の様々な課題を発見・解決できる工学系高度専門職業人の養成を目標にしています。そのため本学部では次のような素養を備えた学生を求めています。

1. 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語で学習したことを身につけている
2. 工学の基礎となる高等学校等で学ぶ数学、物理学、化学、生物学、語学などに優れている
3. 科学や技術に関わるさまざまな現象に興味があり、それらの原理や応用について関心を持つとともに論理的思考力・判断力・表現力等の素養を持ち、これらについて学びたいと考えている
4. 実験や実習、講義、さらには研究に積極的に参加して行動できる
5. 向上心があり、自ら考え行動することができる
6. 工学に関わる技術者、研究者として社会をリードするとともに、その技術と知識をもって社会に貢献する明確な目的意識を持っている
7. 自らの目標を定め、積極的に学ぼうと努力する

上記1～7の素養を持つ学生を幅広く選抜するために、信州大学工学部では以下の入学試験を実施します。

【一般入試（前期日程）】

前期日程では、1に対しては大学入試センター試験で、国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語を課すとともに、個別学力検査では2と3を重視して、志望する学科に関連する教科の思考力・判断力・表現力を重視した学力試験を課します。

【一般入試（後期日程）】

後期日程では、1に対しては大学入試センター試験で、国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語を課すとともに、個別学力検査では、2と3を重視し学力試験を課す学科と、「面接」で4～7に対応した評価を行う学科があります。

【推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない入試）】（略）、【帰国子女入試】（略）、
【私費外国人留学生入試】（略）、【社会人入試】（略）、【第3年次編入学入試】（略）

《大学入学までに履修すべき教科・科目等》

各高等学校等が定める教育課程表に従い、すべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさない程度に履修していることが望めます。特に、工学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学、理科、英語に関しては、下記の科目の内容を理解し、身につけておくことが望めます。

数 学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B
理 科	物理基礎，物理，化学基礎，化学
英 語	十分な読解力，表現力，会話能力

〈前 期 日 程〉

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
物 質 化 学 科	70人
電子情報システム工学科	105人
水環境・土木工学科	38人
機械システム工学科	65人
建 築 学 科	44人
計	322人

2 実施教科・科目等、配点及び合否判定基準

平成30年度大学入試センター試験において、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

大学入試センター試験の受験科目を下表の確認欄を用いて志願者自身がチェックし、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで出願するようにしてください。

※教科・科目等の略表記については、15ページを参照してください。

大学入試センター試験の利用教科・科目名				学科等名	個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
教科	科目名等	受験を要する科目等	確認欄		教科等	科目名等		区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計
国	国	左の科目		物質化学科	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B ※2		センター	100	*50	*50	150	150	200	650
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	左の10科目から1科目選択 ※1			理	物基・物	左の2科目から1科目選択 ※3								
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経					化基・化									
数	数Ⅰ・数A	左の科目		電子情報システム工学科	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B ※2		個別 ※3				250	250		500
		数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の3科目から1科目選択												
理	物, 化, 生, 地学	左の4科目から2科目選択		水環境・土木工学科	理	物基・物		計	100	*50	*50	400	400	200	1150
外	英, 独, 仏, 中, 韓	左の5科目から1科目選択		機械システム工学科											
〔5教科7科目〕				建築学科											

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

※2 数学Bは「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

※3 理科の選択科目による不公平が生じないように、得点調整を行う場合があります。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に *印を付してある教科は選択教科を表します。

【合否判定基準】

配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

3 個別学力検査等の日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	学 科	教科及び時間
2月25日（日）	全学科	理科 9:00～10:30
		数学 13:00～15:00

(2) 検査場

- ① 「入学志願票（前期日程用）」の「検査場」欄の希望する検査場に必ず○印を記入してください。
- ② 名古屋検査場の収容人員には限りがありますので、検査場の決定は出願書類の受付順とします。名古屋検査場で受験を希望する者の数がその収容人員（例年ほぼ希望どおり受け入れ可能となっておりますが、できるだけ早めに出願してください。）を超えた場合には、長野検査場で受験することになります。受験票を送付する際に、決定した検査場をお知らせします。

なお、決定した検査場以外では、いかなる理由があっても受験できません。

- ③ 名古屋検査場に関する照会・問い合わせは、信州大学工学部入試事務室(Tel.026-269-5055)までお願いいたします。名古屋ダイヤビルディング3号館へは一切行わないでください。

〈長野検査場〉 信州大学長野（工学）キャンパス 長野市若里4-17-1

〈名古屋検査場〉名古屋ダイヤビルディング3号館 愛知県名古屋市中村区名駅3-13-5

（60ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。）

（注） 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成30年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

4 その他

出願については5～9ページ，合格者の発表については10ページ，入学手続については10～11ページ，追加合格については11ページを参照してください。

〈後 期 日 程〉

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
物 質 化 学 科	17人
電子情報システム工学科	35人
水 環 境 ・ 土 木 工 学 科	14人
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	20人
建 築 学 科	15人
計	101人

2 実施教科・科目等，配点及び可否判定基準

平成30年度大学入試センター試験において，本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は，出願することができません。

大学入試センター試験の受験科目を下表の確認欄を用いて志願者自身がチェックし，本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで出願するようにしてください。

※教科・科目等の略標記については，15ページを参照してください。

大学入試センター試験の利用教科・科目名				学科等名	個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
教科	科目名等	受験を要する科目等	確認欄		教科等	科目名等	区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	配点 合計
国	国	左の科目		物質化学科	その他	面接	センター	100	*50	*50	200	200	200		750
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	左の10科目から1科目選択 ※1					個別							50	50
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経						計	100	*50	*50	200	200	200	50	800
数	数Ⅰ・数A	左の科目					[5教科7科目]								
理	数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の3科目から1科目選択					センター	100	*50	*50	200	200	200		750
外	物, 化, 生, 地学	左の4科目から2科目選択					個別				250				250
国	国	左の科目		電子情報システム工学科	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B ※2	センター	100	*50	*50	200	200	200		750
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	左の10科目から1科目選択 ※1					個別								
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経						計	100	*50	*50	450	200	200		1000
数	数Ⅰ・数A	左の科目					[5教科7科目]								
理	数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の3科目から1科目選択					センター	100	*50	*50	200	200	200		750
外	物	左の科目					個別								
国	国	左の科目		水環境・土木工学科	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B ※2	センター	100	*50	*50	200	200	200		750
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	左の10科目から1科目選択 ※1					個別								
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経						計	100	*50	*50	450	200	200		1000
数	数Ⅰ・数A	左の科目					[5教科7科目]								
理	数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の3科目から1科目選択					センター	100	*50	*50	200	200	200		750
外	物	左の2科目から1科目選択					個別								
国	国	左の科目		機械システム工学科	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B ※2	センター	100	*50	*50	200	200	200		750
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	左の10科目から1科目選択 ※1					個別								
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経						計	100	*50	*50	450	200	200		1000
数	数Ⅰ・数A	左の科目					[5教科7科目]								
理	数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の3科目から1科目選択					センター	100	*50	*50	200	200	200		750
外	物	左の2科目から1科目選択					個別								
国	国	左の科目		建築学科	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B ※2	センター	100	*50	*50	200	200	200		750
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	左の10科目から1科目選択 ※1					個別								
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経						計	100	*50	*50	450	200	200		1000
数	数Ⅰ・数A	左の科目					[5教科7科目]								
理	数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の3科目から1科目選択					センター	100	*50	*50	200	200	200		750
外	物	左の2科目から1科目選択					個別								

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は，職業教育を主とする学科，総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

「英語」は，リスニングを課します。筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し，「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし，重度難聴者でリスニングを免除された方については，筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については，第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

※2 数学Bは「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に *印を付してある教科は選択教科を表します。

【合否判定基準】

配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

3 個別学力検査等の採点・評価基準

物質化学科の面接における評価方法の要点は、次のとおりです。

「学習意欲、積極性、活動性、化学への関心の高さを重視」

4 個別学力検査等の日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	学 科	教科及び時間
3月12日（月）	物 質 化 学 科	面接 9:00～
	電子情報システム工学科 水環境・土木工学科 機械システム工学科 建築学 科	数学 9:00～11:00

(2) 検査場

後期日程の検査場は、長野検査場のみとなります。

〈長野検査場〉信州大学長野（工学）キャンパス 長野市若里4-17-1

（60ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。）

（注）受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成30年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

5 その他

出願については5～9ページ，合格者の発表については10ページ，入学手続については10～11ページ，追加合格については11ページを参照してください。

7 農 学 部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/>)

〈入学者受入れの方針〉

信州大学農学部は、生命科学分野の基礎能力と農学分野の応用力を身につけ、持続的社会の創造に貢献する人間性豊かな専門職業人の養成を目標にしています。

そのため本学部では次のような素養を備えた学生を求めています。

1. 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、数学、理科、外国語で学習したことを身につけている
2. 農学の基礎となる高等学校等で学ぶ数学、物理学、化学、生物学、語学などに優れている
3. 生命科学や農林業技術に関わるさまざまな現象に興味があり、それらの原理や応用について関心を持つとともに論理的思考力・判断力・表現力等の素養を持ち、これらについて学びたいと考えている
4. 生命科学や農学分野の実験や実習、講義、課題探求に意欲的に参加できる
5. 自然と人が共生する持続的社会の創造を目指して、社会に貢献する明確な目的意識を持っている

本学部では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、以下の入学試験を実施します。

【一般入試（前期日程）】

前期日程では、1 に対しては大学入試センター試験で国語、数学、理科、英語を課すとともに、個別学力検査では2と3を重視して、生命科学分野に関連する教科の思考力・判断力・表現力を重視した個別学力試験を課します。

【一般入試（後期日程）】

後期日程では、1 に対しては大学入試センター試験で、国語、数学、理科、英語を課すとともに、2と3に対応した配点を用いて評価し、「面接」で3～5に対応した評価を行います。

【推薦入試Ⅰ（センター試験を課さない入試）】（略）、【帰国子女入試】（略）、【私費外国人留学生入試】（略）、【第3年次編入学入試】（略）

〈前 期 日 程〉

1 募集人員

学 科 ・ コース		募 集 人 員
農学生命科学科	生 命 機 能 科 学 コース	33人
	動物資源生命科学コース	28人
	植 物 資 源 科 学 コース	33人
	森林・環境共生学コース	28人
計		122人

2 実施教科・科目等、配点及び合否判定基準

平成30年度大学入試センター試験において、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

大学入試センター試験の受験科目を下表の確認欄を用いて志願者自身がチェックし、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで出願するようにしてください。

※教科・科目等の略表記については、15ページを参照してください。

大学入試センター試験の利用教科・科目名				学科等名	個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
教科	科目名等	受験を要する科目等	確認欄		教科等	科目名等		区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計	
国	国(近代以降の文章)	左の科目		生命機能科学コース 農学生命科学コース 植物資源科学コース 森林・環境共生学コース	理	化基・化	左の2科目から1科目選択 ※1	センター	100			200	200	200	700	
数	数Ⅰ・数A	左の科目						個別				200				
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の3科目から1科目選択														
理	物, 化, 生, 地学	左の4科目から2科目選択				生基・生		計	100				200	400	200	900
外	英	左の科目														
〔4教科6科目〕																

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

【個別学力検査等】欄

※1 理科の選択科目による不公平が生じないように、得点調整を行う場合があります。

【合否判定基準】

配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

3 採点・評価基準

理科は、化学又は生物のいずれかの選択となっており、論理的思考能力、基礎学力などの高校で学習したことを評価します。

4 個別学力検査等の日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	コース	教科及び時間
2月25日（日）	全コース	理科 9:00～10:30

(2) 検査場

信州大学伊那キャンパス 長野県上伊那郡南箕輪村8304

（60ページからの「Ⅳ 各学部検査場案内」を参照してください。）

（注） 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成30年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

5 注意事項

前期日程の受験について、出願手続後の受験科目の変更は認めません。

6 その他

出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11ページを参照してください。

<後 期 日 程>

1 募集人員

学 科 ・ コース		募 集 人 員
農学生命科学科	生命機能科学コース	16人
	動物資源生命科学コース	
	植物資源科学コース	
	森林・環境共生学コース	
計		16人

2 実施教科・科目等，配点及び可否判定基準

平成30年度大学入試センター試験において，本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は，出願することができません。

大学入試センター試験の受験科目を下表の確認欄を用いて志願者自身がチェックし，本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで出願するようにしてください。

※教科・科目等の略表記については，15ページを参照してください。

大学入試センター試験の利用教科・科目名				学科等名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
教科	科目名等	受験を要する科目等	確認欄			教科等	科目名等	区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	配点 合計	
国	国(近代以降の文章)	左の科目		農学生命科学科	生命機能科学コース	その他	面接	センター	100			200	200	200		700	
数	数Ⅰ・数A	左の科目			動物資源生命科学コース			個別								100	100
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の3科目から1科目選択			植物資源科学コース												
理	物, 化, 生, 地学	左の4科目から2科目選択			森林・環境共生学コース												
外	英	左の科目															
〔4教科6科目〕																	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は，職業教育を主とする学科，総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

「英語」は，リスニングを課します。筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用します。ただし，重度難聴者でリスニングを免除された方については，筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

【可否判定基準】

配点に従い，総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

3 採点・評価基準

面接は，学習意欲，将来性，創造性などを総合的に評価します。

4 個別学力検査等の日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	コース	教科及び時間
3月12日（月）	全コース	面接 9：00～

(2) 検査場

信州大学伊那キャンパス 長野県上伊那郡南箕輪村8304
(60ページからの「Ⅳ 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は，「信州大学の受験票」及び「平成30年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

5 その他

出願については5～9ページ，合格者の発表については10ページ，入学手続については10～11ページ，追加合格については11ページを参照してください。

8 繊維学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/>)

〈入学者受入れの方針〉

繊維学部は衣・食・住の要である“繊維”に根ざした先進的な科学技術を背景として、優れた人格と国際性を有し、未来を創造しうる、広い視野と高い能力を持つ技術者、高度専門職業人、研究者の養成を目標にしています。

繊維学部ではこの目標に基づき、次のような意欲を持った学生を求めています。

1. 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語で学習したことを身につけている。
2. 現代の多様な学問分野を融合した学際領域的な科学技術を学ぶことに強い関心を持ち、それらを学ぶために必要な思考力・判断力・表現力の素養を持っている。
3. 日々進化する科学と技術に対応して学び続け、より高い専門的・実践的能力を得ることに明確な目的意識と強い勉学意欲を持っている。
4. 地域社会や国際社会に貢献するために必要な、豊かな教養と人間性を高めようとする意欲を持っている。

繊維学部では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、下記の入学試験を実施します。

【一般入試（前期日程）】

前期日程では、1に対しては大学入試センター試験で、国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語を課すとともに、2に対応した配点を採用し、個別学力検査では2を重視して、理系分野の思考力・判断力・論述力を評価します。

【一般入試（後期日程）】

後期日程では、1に対しては大学入試センター試験で、国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語を課すとともに、個別学力検査では2に対応して数学と理科を課して、理系分野の表現力・思考力・判断力を評価します。

【推薦入試Ⅰ（センター試験を課さない入試）】（略）、【帰国子女入試】（略）、【私費外国人留学生入試】（略）、【第3年次編入学入試】（略）

《大学入学までに履修すべき教科・科目》

各高等学校等が定める教育課程表に従い、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等、履修するすべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさない程度に履修していることが望まれます。特に、繊維学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学及び理科に関しては、下記の科目の内容を理解していることが望まれます。

普通科の場合

学 科	理 科	数 学
先進繊維・感性工学科	物理基礎、物理、化学基礎、化学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B
機械・ロボット学科	物理基礎、物理	
化学・材料学科	化学基礎、化学、物理基礎、物理	
応用生物科学科	生物基礎、生物、化学基礎、化学	

普通科以外の場合

各高等学校等の教育課程表に従い、履修可能な数学及び理科に関するできるだけ多くの科目

繊維学部
前期日程

※ 所属コースとカリキュラムについて

- ◆ 先進繊維・感性工学科は学科で入試を実施し、2年進級時に学生の希望と1年次の成績により所属コース（先進繊維工学コース、感性工学コース）を決定し、2年次からコース別カリキュラムで学習します。
- ◆ 機械・ロボット学科は学科で入試を実施し、2年進級時に学生の希望と1年次の成績により所属コース（機能機械学コース、バイオエンジニアリングコース）を決定し、2年次からコース別カリキュラムで学習します。
- ◆ 化学・材料学科は学科で入試を実施し、2年進級時に学生の希望と1年次の成績により所属コース（ファイバー材料工学コース、機能高分子学コース、応用分子化学コース）を決定し、2年次からコース別カリキュラムで学習します。
- ◆ 応用生物科学科は学科で入試を実施します。コースへの配属はなく、卒業まで学科のカリキュラムで学習します。

〈前期日程〉

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
先進繊維・感性工学科	25人
機械・ロボット学科	27人
化学・材料学科	58人
応用生物科学科	23人
計	133人

2 志望学科の選択

本学部「前期日程」では、先進繊維・感性工学科、機械・ロボット学科、化学・材料学科、応用生物科学科の中から、第1・第2志望を選択することができます。

3 実施教科・科目等、配点及び合否判定基準

平成30年度大学入試センター試験において、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

大学入試センター試験の受験科目を下表の確認欄を用いて志願者自身がチェックし、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで出願するようにしてください。

※教科・科目等の略表記については、15ページを参照してください。

大学入試センター試験の利用教科・科目名				学科等名	個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
教科	科目名等	受験を要する科目等	確認欄		教科等	科目名等	区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計
国	国	左の科目		先進繊維・感性工学科	理	物基・物	センター	50	*25	*25	200	100	125	500
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理	左の10科目から1科目選択 ※1		機械・ロボット学科	理	化基・化								
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経			応用生物科学科	理	生基・生								
数	数I・数A	左の科目		化学・材料科学科	理	物基・物	個別					200		200
	数II・数B, 簿, 情報	左の3科目から1科目選択												
理	物, 化, 生	左の3科目から2科目選択												
外	英, 独, 仏, 中, 韓	左の5科目から1科目選択				化基・化	計	50	*25	*25	200	300	125	700
〔5教科7科目〕														

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高専課程の修了（見込み）者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、

「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

※2 選択科目による不公平が生じないように、得点調整を行う場合があります。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に *印を付してある教科は選択教科を表します。

【合否判定基準】

配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

合否判定は、学科ごとに第1志望を優先し、総合点の順位により行います。ただし、第2志望受験者は次の計算式により総合点を算出し、第1志望受験者に加えて判定します。

$$\text{第2志望での総合点} = (\text{センター試験小計} + \text{個別学力検査小計}) \times 0.9$$

4 採点・評価基準

大学入試センター試験の成績、個別学力検査の成績及び調査書の内容を総合して行います。

5 個別学力検査等の日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	学 科	教科及び時間
2月25日（日）	全学科	理科 9:00～10:30

(2) 検査場

- ① 「入学志願票（前期日程用）」の「検査場」欄の希望する検査場に必ず○印を記入してください。
- ② 名古屋検査場の収容人員には限りがありますので、検査場の決定は出願書類の受付順とします。名古屋検査場での受験を希望する者の数がその収容人員（例年ほぼ希望どおり受け入れ可能となっていますが、できるだけ早めに出願してください。）を超えた場合には、長野検査場で受験することになります。受験票を送付する際に、決定した検査場をお知らせします。

なお、決定した検査場以外では、いかなる理由があっても受験できません。

- ③ 名古屋検査場に関する照会・問い合わせは、信州大学繊維学部入試事務室(Tel.0268-21-5310)までお願いします。名古屋ダイヤビルディング3号館へは一切行わないでください。

〈上田検査場〉 信州大学上田キャンパス 上田市常田3-15-1

〈名古屋検査場〉名古屋ダイヤビルディング3号館 愛知県名古屋市中村区名駅3-13-5

（60ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。）

（注） 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成30年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

6 その他

出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11ページを参照してください。

〈後 期 日 程〉

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
先進繊維・感性工学科	20人
機械・ロボット学科	27人
化学・材料学科	32人
応用生物科学科	15人
計	94人

2 志望学科の選択

本学部「後期日程」では、先進繊維・感性工学科、機械・ロボット学科、化学・材料学科、応用生物科学科の中から、第1・第2志望を選択することができます。

3 実施教科・科目等、配点及び可否判定基準

平成30年度大学入試センター試験において、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

大学入試センター試験の受験科目を下表の確認欄を用いて志願者自身がチェックし、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで出願するようにしてください。

※教科・科目等の略表記については、15ページを参照してください。

大学入試センター試験の利用教科・科目名				学科等名	個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
教科	科目名等	受験を要する科目等	確認欄		教科等	科目名等	区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計
国	国	左の科目		先進繊維・感性工学科 機械・ロボット学科 化学・材料学科 応用生物科学科	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B ※2	センター	100	*100	*100	200	200	200	800
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	左の10科目から1科目選択 ※1			理	物基・物	個別				200	200		400
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経					化基・化								
数	数Ⅰ・数A	左の科目				生基・生								
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報	左の3科目から1科目選択					計	100	*100	*100	400	400	200	1200
理	物, 化, 生	左の3科目から2科目選択												
外	英, 独, 仏, 中, 韓	左の5科目から1科目選択												
〔5教科7科目〕														

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

※2 数学Bは「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

※3 選択科目による不公平が生じないように、得点調整を行う場合があります。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に *印を付してある教科は選択教科を表します。

配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

可否判定は、学科ごとに第1志望を優先し、総合点の順位により行います。ただし、第2志望受験者は次の計算式により総合点を算出し、第1志望受験者に加えて判定します。

$$\text{第2志望での総合点} = (\text{センター試験小計} + \text{個別学力検査小計}) \times 0.9$$

4 採点・評価基準

大学入試センター試験の成績、個別学力検査の成績及び調査書の内容を総合して行います。

5 個別学力検査等の日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	学 科	教科及び時間
3月12日（月）	全学科	数学 9:00～11:00
		理科 13:00～14:30

(2) 検査場

後期日程の検査場は、上田検査場のみとなります。

〈上田検査場〉 信州大学上田キャンパス 上田市常田3-15-1
(60ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成30年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

6 その他

出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11ページを参照してください。

Ⅲ 入学志願票の記入例等

平成30年度 信州大学入学志願票(A) <前期日程用・後期日程用と同じ>

志望学部	教育	学部	※	志望する学部を記入してください。
フリガナ	シンシュウ タロウ	生年月日	昭和 11 年 5 月 3 日生 (満 18 歳) 平成	平成30年4月1日現在の満年齢を記入してください。
氏名	信州太郎	性別	男・女	
出願資格	出身学校	卒業等年月	学科	高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定の合格者は、「卒業等年月」欄の「高卒認定試験等合格」を○で囲み、受験地等必要事項を記入してください。 学科欄の「その他」を○で囲んだ場合は()内に当該学科名を記入してください。
	長野 都・道 府 県 国立 松本 高等学校 公立 中等教育学校 私立 学校	昭和 平成 30 年 3 月 卒業見込・卒業 修了見込・修了 高卒認定試験等合格 昭和 年 (受験地) 平成 その他	普通科 理数科 農業科 工業科 商業科 総合学科 その他 ()	
受信場所 (志願者連絡先)	〒 123-4567 長野県〇〇市〇〇1-2-3	電話	0263-33-XXXX	郵便番号, 〇〇〇方, 市外局番等もなく記入してください。 電話番号は緊急の際に必ず連絡のつく番号を記入してください。 受信場所(志願者連絡先)を変更した場合は, 直ちに受験番号, 氏名を明記のうえ, 出願した学部の入試事務室にお届けください。
		携帯電話	090-6666-XXXX	
保護者	氏名 信州 一郎	住所 〒 同上	電話 同上 携帯電話 080-5555-XXXX	

出願する学部(学科・コース・専攻)が課す大学入試センター試験の教科・科目を必ず学生募集要項の以下のページで確認してください。

	前期日程	後期日程
人文学部	17ページ	19ページ
教育学部	22ページ	26ページ
経法学部	30ページ	32ページ
理学部	35～36ページ	38～39ページ
医学部	43ページ	45ページ
工学部	47ページ	48ページ
農学部	51ページ	52ページ
繊維学部	54ページ	56ページ

出願する学部(学科・コース・専攻)が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験していますか。

はい・いいえ

【出願書類等の記入上の注意】

1. 太枠内にかい書でいねいに記入してください。
2. ※印欄は記入しないでください。
3. 黒か青のボールペン又はインクで記入してください。
4. 誤って記入した場合は, 二重線を引き, 余白部分に訂正してください(訂正印は不要)。修正内容が明確に分かるようであれば, 文字が記入欄からはみ出てもかまいません。
5. この募集要項に添付する長形3号封筒(受験票等送付用封筒)には, 志願者の郵便番号, 住所, 氏名を記入し, 372円分の切手を貼り, 出願書類とともに提出してください。
6. 出願書類等を郵送する場合には, この募集要項に添付する角形4号封筒によることとし, 「簡易書留速達」としてください。
なお, 持参する場合もこの募集要項に添付する角形4号の封筒を利用してください。

【出願書類等(6ページ参照)】

次のものが整っているか確認して, 提出(郵送)してください。

- ☐ 入学志願票(A)
- ☐ 入学志願票(B) - 入学志願票(A)の裏面 -
<大学入試センター試験成績請求票 { 国公立前期日程用 国公立後期日程用 } 貼付>
- ☐ 受験票・写真票
- ☐ 調査書(出身学校長が作成し, 厳封したもの)
- ☐ 入学検定料納付確認書(A票)
- ☐ 受験票等送付用封筒(指定封筒-長形3号)
- ☐ ラベル票
- ☐ 志願調書(医学部医学科志願者のみ)
- ☐ 出願書類等到着通知はがき(医学部医学科志願者のみ)
- ☐ 実技検査(音楽)受験曲目届及び声楽の伴奏用楽譜(教育学部音楽教育コース志願者のみ)
- ☐ 実技検査(美術)受験曲目届(教育学部図画工作・美術教育コース(前期日程)志願者のみ)
- ☐ 実技検査(運動)選択曲目届(教育学部保健体育コース, 野外教育コース(前期日程)志願者のみ)
- ☐ 実技検査(運動)受験曲目届(教育学部保健体育コース, 野外教育コース(後期日程)志願者のみ)

前期日程用

内のみ必要事項を記入(又は貼付)してください。
※印欄は記入しないでください。

平成30年度 信州大学入学志願票(B)

志望学部 **教育 学部**

フリガナ **シンシュウ タロウ**
氏 名 **信 州 太 郎**

区分 **2**
受験番号 **※**

種別 **前**
前 **4**
10 **11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22**

前 平成30センター試験成績請求票
国 公 立 前 期 日 程 用
貼 付 欄
(全面のりつけ)

＜以下は志望する学部のみ記入してください。＞

志望学部	志望学科	検査場
人文学部	人 文	松本 東京
	10	24 25 30 31

志望学科欄に「人文」と記入してください。
検査場欄は、希望する欄に○印を付してください。

志望学部	志望学科(コース)	選択(地球学コース)
理学部	理 (地球学コース)	物 基 生 地 基 基 基 基 ・ 物 化 生 地
	40	24 25 30 31 32 33

志望する学科・コース名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。
なお、地球学コースを志望する方は、口頭試験の選択1科目に○印を付してください。
なお、数学科についてはコース記入は不要です。

志望学部	志望コース	受験科目コード
教育学部	現代教育	01
	01	24 25 30 31
教育学部	国語教育	01
	10	26 27 32 33

希望するコース名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。
なお、第2志望のない場合はコード「99」と記入してください。
無記入の場合は「第2志望なし」とみなします。

受験科目コード	受験科目	受験時間帯
01	国語	B
02	外国語	
03	数学(I・II・III・A・B)	
05	数学(I・II・A・B)+物理	
06	数学(I・II・A・B)+化学	
07	数学(I・II・A・B)+生物	
08	数学(I・II・A・B)+地学	A
13	物理+化学	
14	物理+生物	
15	物理+地学	
16	化学+生物	
17	化学+地学	
18	生物+地学	
20	実技検査(音楽)	D
21	実技検査(美術)	
22	実技検査(運動)	
28	小論文	
29	地理歴史、公民	C
30	地理歴史、公民	C
30	外国語	B
31	地理歴史、公民	C
31	数学(I・II・III・A・B)	A

志望学部	志望学科	選択教科/検査場
経済学部	応用経済	松本 東京
	10	24 25 30 31 33 34 36 37

志望する学科名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。
また、第2志望のない場合はコード「99」と記入してください。無記入の場合は「第2志望なし」とみなします。
選択教科/検査場欄は、希望する欄に○印を付してください。

志望学部	志望コース	選択
農学部	生命機能科学	理 科 化 生 基 基 基 基 ・ 化 生
	10	24 25 31 32

志望するコース名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。
選択科目欄は、受験する理科の科目の該当欄に○印を付してください。

志望学部	志望学科(専攻)	選択(医学科)
医学部	保健 (検査技術科学 専攻)	理 科 物 理 化 学 理 理 理 ・ 理 理 理 ・ 生 生 生
	02	24 25 30 31 32

志望する学科名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。
なお、保健学科を志望する方は専攻名も記入してください。

志望学部	志望学科	検査場
工学部	物質化	長野 名古屋
	10	24 25 30 31 32 33

志望する学科名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。
検査場欄は、希望する欄に○印を付してください。
物質化学科を志望する方は、受験する理科の科目選択の該当欄に○印を付してください。

志望学部	志望学科	検査場
繊維学部	応用生物科	上田 名古屋
	40	24 25 30 31 32 33 34

志望する学科名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。
また、第2志望のない場合はコード「99」と記入してください。無記入の場合は「第2志望なし」とみなします。
検査場欄は、希望する欄に○印を付してください。

＜コード表＞

学部	学科(コース・専攻)	コード
人文学部	人 文 学 科	10
教育学部	現代教育	01
教育学部	野外教育	02
教育学部	国語教育	10
教育学部	英語教育	11
教育学部	社会科教育	12
教育学部	数学教育	13
教育学部	理科教育	14
教育学部	音楽教育	15
教育学部	図画工作・美術教育	16
教育学部	保健体育	17
教育学部	ものづくり・技術教育	18
教育学部	家庭科教育	19
教育学部	特別支援教育	20
教育学部	心理支援教育	21
経済学部	応用経済学科	10
経済学部	総合法律学科	20
理学部	数 学 科	10
理学部	物理学科	20
理学部	化学	30
理学部	地球学	40
理学部	生物学	50
理学部	物質循環学	60
医学部	医 学 科	00
医学部	看護学	01
医学部	検査技術科学	02
医学部	理学療法科学	03
医学部	作業療法科学	04
工学部	物質化学科	10
工学部	電子情報システム工学科	20
工学部	水環境・土木工学科	30
工学部	機械システム工学科	40
工学部	建 築 学 科	50
農学部	農学生命科学科	10
農学部	動物資源生命科学	20
農学部	植物資源科学	30
農学部	森林・環境共生学	40
繊維学部	先進繊維・感性工学科	10
繊維学部	機械・ロボット学科	20
繊維学部	化学・材料科学科	30
繊維学部	応用生物科学科	40
繊維学部	第2志望なし	99

後 期 日 程 用

□内のみ必要事項を記入(又は貼付)してください。
※印欄は記入しないでください。

平成30年度 信州大学入学志願票(B)

志望学部	理 学 部	フリガナ	シンシュウ タロウ
		氏 名	信 州 太 郎

区分	受験番号	種別	後 平成30センター試験成績請求票 国 公 立 後 期 日 程 用 貼 付 欄 (全面のりつけ)
2	※	後	
1		5	
	2 3 4 5 6 7 8 9	10	

<以下は志望する学部のみ記入してください。>

人文学部	志望学科	
	人 文 学科	
	1 0 24 25	

志望学科欄に「人文」と記入してください。

教育学部	志望コース	
	野外教育	
	0 2 24 25	

希望するコース名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。

経済学部	志望学科	
	応用経済 学科	
	1 0 24 25	

志望学科欄に「応用経済」と記入してください。

理学部	志望学科(コース)	選択科目
	理 学科 (化学 コース)	理科 物 化 生 地 基 基 基 基 ・ 化 生 地 物 化 生 地
	3 0 24 25	○ 30 31 32 33

志望する学科・コース名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。

なお、数学科についてはコース記入は不要です。

選択する1科目の該当欄に○印を付けてください。

医学部	志望学科(専攻)	
	保健 学科 (看護学 専攻)	
	0 1 24 25	

志望する学科名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。

なお、保健学科を志望する方は、専攻名も記入してください。

農学部	志望コース	
	動物資源 生命科学 コース	
	2 0 24 25	

志望するコース名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。

工学部	志望学科	
	建築 学科	
	5 0 24 25	

志望する学科名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。

繊維学部	志望学科		選択科目
	第1志望	第2志望	理科 物 化 生 基 基 基 ・ 化 生 物 化 生
	応用生物科 学科	先進繊維・ 感性工 学科	○ 30 31 32

志望する学科名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。

また、第2志望のない場合はコード「99」と記入してください。

無記入の場合は「第2志望なし」とみなします。

選択する1科目の該当欄に○印を付けてください。

<コード表>

学部	学科(コース・専攻)		コード
人 文	人 文 学 科		1 0
教 育	学校教育教員養成課程	現代教育	0 1
		野外教育	0 2
		国語教育	1 0
		英語教育	1 1
		社会科教育	1 2
		数学教育	1 3
		理科教育	1 4
		音楽教育	1 5
		図画工作・美術教育	1 6
		保健体育	1 7
		ものづくり・技術教育	1 8
		家庭科教育	1 9
		特別支援教育	2 0
心理支援教育	2 1		
経法	応 用 経 済 学 科		1 0
理	数 学 科	数 学 科	1 0
		物 理 学	2 0
		化 学	3 0
		地 球 学	4 0
		生 物 学	5 0
		物質循環学	6 0
医	保健学科	看 護 学	0 1
		検査技術科学	0 2
		作業療法学	0 4
工	物質化学科	物 質 化 学 科	1 0
		電子情報システム工学科	2 0
		水環境・土木工学科	3 0
		機械システム工学科	4 0
農	建 築 学 科	建 築 学 科	5 0
		生命機能科学	1 0
		農学生命科学科	2 0
		動物資源生命科学	2 0
		植物資源科学	3 0
織 維	森林・環境共生学	森 林 ・ 環 境 共 生 学	4 0
		先進繊維・感性工学科	1 0
		機械・ロボット工学科	2 0
		化学・材料科学科	3 0
		応 用 生 物 科 学 科	4 0
第 2 志 望 な し			9 9

Ⅳ 各学部検査場案内

各学部とも以下の検査場で実施します。詳細については、受験票に同封してお知らせします。

学部	検査場連絡先・交通案内	検査場略図
経法学部（松本検査場） 人文学部（松本検査場） 理医学部	松本キャンパス 松本市旭3-1-1 JR松本駅「お城口（東口）」を出て右前方松本バスターミナルのりば1の“信大横田循環線”又は“浅間線”に乗車（約15分）、「信州大学前」下車、徒歩2分。 人文学部 Tel 0263-37-3458 （前期日程は東京検査場も設けます。61ページ参照。） 経法学部 Tel 0263-37-3312 （前期日程は東京検査場も設けます。61ページ参照。） 理学部 Tel 0263-37-2439 医学部医学科 Tel 0263-37-3419 医学部保健学科 Tel 0263-37-2357	
教育学部	長野（教育）キャンパス 長野市西長野6の口 Tel 026-238-4044 - JR長野駅善光寺口4番のりばで、長野市循環バス『ぐるりん号』に乗車（10分）、バス停「信大教育学部前」下車して道路を挟んで正面に長野（教育）キャンパスがあります。（徒歩1分） - JR長野駅善光寺口1番のりばで、アルピコバス“善光寺大門行き”“善光寺経由宇木行き”“善光寺・西条経由若槻東条行き”“善光寺・若槻団地経由若槻東条行き”のいずれかに乗車（10分）、「花の小路」下車、徒歩5分。 - JR長野駅善光寺口7番のりばで、アルピコバス“県道経由戸隠中社行き”“鬼無里行き”“川後経由滝屋行き”のいずれかに乗車（10分）、バス停「信大教育学部前」下車して道路を挟んで正面に長野（教育）キャンパスがあります。（徒歩1分）	
工学部（長野検査場）	長野（工学）キャンパス 長野市若里4-17-1 Tel 026-269-5055 （前期日程は名古屋検査場も設けます。62ページ参照。） - JR長野駅東口から徒歩約20分。 - JR長野駅東口21番のりばで、長電バス“日赤線”に乗車（5分）、「信大工学部」で下車、正門まで徒歩2分。 - JR長野駅善光寺口2番のりばで、アルピコバス“日赤経由大塚南行き”“松岡行き”“ビッグハット行き”のいずれかに乗車（8分）、「信大工学部前」下車、正門まで徒歩5分。	

学部	検査場連絡先・交通案内	検査場略図
工学部・繊維学部（名古屋検査場） 【前期日程のみ】	名古屋ダイヤビルディング 3号館 愛知県名古屋市中村区名駅3-13-5 工学部 Tel 026-269-5055 繊維学部 Tel 0268-21-5310 ※ 名古屋検査場に関する照会・問い合わせは、信州大学工学部又は繊維学部入試事務室までお願いします。名古屋ダイヤビルディング3号館へは一切行わないでください。 ・ JR 名古屋駅桜通口から徒歩5分。	

一般入試学生募集要項・大学案内等の請求方法

1 信州大学のホームページから請求する請求方法

信州大学のホームページからテレメールを利用して募集要項等の資料請求ができます。
詳しくは、信州大学ホームページ（入試情報ポータル/資料請求）をご覧ください。（http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）

2 インターネット（パソコン・スマホ・ケータイ）又は電話による請求方法（学生募集要項の受付は平成 30 年 1 月 25 日まで）

- ① 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話)	http://telemail.jp	スマートフォン・携帯電話でバーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要。 
電 話	TEL 050-8601-0101（24 時間受付、自動音声応答電話） ※ 住所・名前の登録時は、ゆっくりはっきりお話しください。登録された音声の不鮮明な場合は、資料をお届けできないことがあります。	

- ② あなたが希望する資料請求番号（6 桁）をプッシュ又は入力してください。複数の資料を希望する場合には、希望する資料請求番号を続けてプッシュ又は入力してください。

資 料 名	資料請求番号	料金	資 料 名	資料請求番号	料金
学 生 募 集 要 項	4 8 7 8 7 8	250 円	理 学 部 案 内	4 8 7 8 9 2	180 円
信 州 大 学 案 内	4 8 7 8 7 5	215 円	医 学 部 案 内	4 8 7 8 9 3	215 円
学生募集要項 + 信州大学案内	4 8 7 8 7 9	250 円	工 学 部 案 内	4 8 7 8 9 4	250 円
人 文 学 部 案 内	4 8 7 8 8 9	215 円	農 学 部 案 内	4 8 7 8 9 5	215 円
教 育 学 部 案 内	4 8 7 8 9 0	215 円	織 維 学 部 案 内	4 8 7 8 9 6	250 円
経 法 学 部 案 内	4 8 7 8 9 1	120 円			

- ③ あとはガイダンスに従ってお届け先を登録してください。（テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。）

- ※ 請求から 1～2 日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては 3 日以上かかる場合もあります。1 週間以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。
- ※ 料金は、お届けする資料に同封されている料金支払用紙の支払方法に従い、表示料金をお支払いください。なお、支払いに際して手数料が別途必要になります。また、料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
- ※ 資料請求終了時及び受付確認メール内で告知される 10 桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

※ 1, 2 の請求についてのお問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102（9:30～18:00）

3 信州大学へ直接請求する場合の請求方法

返信用角形 2 号封筒（24 cm×33.2 cm）に請求者の郵便番号、住所、氏名を記載し、送料分の切手を貼り、別の封筒に入れ、各学部の入試事務室又は学務部入試課あてに請求してください。その際、請求用封筒の裏にも請求者の住所、氏名、電話番号を記載してください。「はがき」による請求には応じられません。また、送料の受取人払いの取り扱いはできませんので、注意してください。

資 料 名	請求用封筒の表書き（封筒左側に朱書き）	送 料（切手代）
学 生 募 集 要 項	「募 集 要 項 請 求」	3 0 0 円
信 州 大 学 案 内	「信 州 大 学 案 内 請 求」	2 1 5 円
学生募集要項 + 信州大学案内	「募集要項・信州大学案内請求」	3 0 0 円

4 請求先

（土曜日、日曜日、祝日及び休日は、取り扱いません。電話による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。）

請 求 先	
人 文 学 部 入 試 事 務 室	〒390-8621 松本市旭 3-1-1
経 法 学 部 入 試 事 務 室	
理 学 部 入 試 事 務 室	
医学部医学科入試事務室	
医学部保健学科入試事務室	
教 育 学 部 入 試 事 務 室	〒380-8544 長野市西長野 6 の口
工 学 部 入 試 事 務 室	〒380-8553 長野市若里 4-17-1
農 学 部 入 試 事 務 室	〒399-4598 上伊那郡南箕輪村 8304
織 維 学 部 入 試 事 務 室	〒386-8567 上田市常田 3-15-1
学 務 部 入 試 課	〒390-8621 松本市旭 3-1-1

■ この要項に関する問い合わせ先

人文学部入試事務室	〒390-8621 松本市旭 3-1-1	TEL (0263) 37-3458
経法学部入試事務室	〃	TEL (0263) 37-3312
理学部入試事務室	〃	TEL (0263) 37-2439
医学部医学科入試事務室	〃	TEL (0263) 37-3419
医学部保健学科入試事務室	〃	TEL (0263) 37-2357
教育学部入試事務室	〒380-8544 長野市西長野 6 の口	TEL (026) 238-4044
工学部入試事務室	〒380-8553 長野市若里 4-17-1	TEL (026) 269-5055
農学部入試事務室	〒399-4598 上伊那郡南箕輪村 8304	TEL (0265) 77-1310
繊維学部入試事務室	〒386-8567 上田市常田 3-15-1	TEL (0268) 21-5310
学務部入試課	〒390-8621 松本市旭 3-1-1	TEL (0263) 37-2192

■ ホームページ（入試情報ポータル） http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/

■ 携帯電話サイト <http://daigakujo.jp/shinshu-u/>



発行：信州大学（平成29年11月） 編集：信州大学学務部入試課



古紙・プラスチック資源70%再生紙を使用